



PUBLIC

NO.86
パブリックゴルフニュース

GOLF NEWS

All Japan Mid Senior
Amateur Golfers Championship
Champion Takeo Ogawa



独占 インタビュー 岡山 絵里プロ

第11回・第13回 全日本女子パブリック選手権 優勝者

全日本アマチュアゴルファーズ選手権
細野勇策選手が怒濤の快進撃で、逆転初優勝！

全日本女子アマチュアゴルファーズ選手権
平岡瑠依選手がプレーオフを制し、念願の初優勝！

完全レポート！2018年度主催競技報告
全日本大会、各地区決勝競技全成績掲載

シーズン到来！競技のスケジュールは PGS から
2019年度 主催競技全日程

今年の全日本大会開催コースをチェック！
2019年度 全日本大会会場、PGS 加盟コースガイド

ゴルフを知る辞典
ゴルフ史研究家 久保田誠一

これぞチーム戦の醍醐味。二人で目指せ、全日本大会！
全日本パブリックダブルスクランブル選手権レポート



スポーツ振興くじ助成事業



「サンレオ」はヤマト徽章株の商品ブランドです。



感動をかたちに
喜びをあなたに



YC-2900

優勝カップ・トロフィー・メダル
バッジ・オーダー品のトップメーカー

100年企業を目指します

 ヤマト徽章株式会社

〒113-0001 東京都文京区白山1-26-19

電話 (03) 3814-5171 (代表)

FAX (03) 3812-0502 (代表)

<http://www.yamato-kisho.co.jp/>

<http://www.sunleo.gr.jp/>



ホームページに掲載のデジタルカタログで、
全商品をご覧頂けます。

き し ゆ う





PUBLIC GOLF NEWS

パブリック ゴルフ ニュース No.86



インタビュー

岡山 絵里プロ



—晴天と荒天の間で—

日本パブリックゴルフ協会会報 [PUBLIC GOLF NEWS]

No.86 2019年3月1日発行

発行

公益社団法人日本パブリックゴルフ協会
〒104-0061 東京都中央区銀座 1-19-16 銀座昭和ビル2階
TEL.03-3563-2388
<http://www.pgs.or.jp>

表紙イラスト

久我 修一



表紙・本文デザイン

井上 実

取材

■全日本大会 江崎 龍太・児玉 光雄・猿田 穂

■東日本地区 江崎 龍太・谷 祐美

■中部日本地区 児玉 光雄

■西日本地区 猿田 穂

編集・制作協力

葵コーポレーション株式会社

CONTENTS

目次

5	ごあいさつ	公益社団法人日本パブリックゴルフ協会会長(代表理事) 三野哲治
6	インタビュー	岡山絵里プロ
9	コラム	日本女子プロゴルフ選手権を取材して ゴルフを知る辞典 久保田誠一
11	2018年度 全日本アマチュアゴルファーズ選手権	全日本アマチュア選手権 12 全日本女子アマチュア選手権 14 全日本ミッドアマ選手権 16 全日本女子ミッドアマ選手権 18 全日本シニア選手権 20 全日本女子シニア選手権 22 全日本ミッドシニア選手権 23 全日本グランドシニア選手権 24
26	ダブルススクランブル	
27	2018度 アマチュアゴルファーズ選手権 地区決勝	アマチュア選手権 ————— 東日本A地区 28 東日本B地区 28 東日本C地区 29 中部日本地区 29 西日本地区 30 女子アマチュア選手権 ————— 東日本地区 30 中部日本地区 31 西日本地区 31 ミッドアマ選手権 ————— 東日本A地区 32 東日本B地区 32 中部日本地区 33 西日本地区 33 女子ミッドアマ選手権 ————— 東日本地区 34 中部日本地区 34 西日本地区 35 シニア選手権 ————— 東日本地区 35 中部日本地区 36 西日本地区 36 女子シニア選手権 ————— 東日本地区 37 中部日本地区 37 西日本地区 38 ミッドシニア選手権 ————— 東日本地区 38 中部日本地区 39 西日本地区 39 グランドシニア選手権 ————— 東日本地区 40 中部日本地区 40 西日本地区 41

41

PGS会員コース紹介／お知らせ

巻末付録

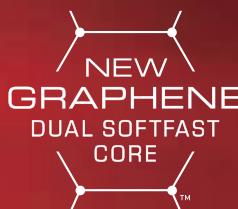
2018年度 競技成績 全日本／地区決勝
アンダーハンディ／ドリーム・エイジ
ダブルススクランブル成績

2019年度 競技日程

※巻末付録の「競技成績」及び「競技日程」は、見易さを考慮し裏表紙方向からページが進むようにレイアウトされています。

Callaway

グラフェン弾道で、 ぶっ飛ばせ。



新素材「グラフェン」搭載

アウターコアにグラフェンを注入することで、インナーコアの最大化を実現。
ボールのエンジンとも言われるコアのエネルギーを最大限に集約した、新デュアル・ソフトファスト・コア搭載。

飛ばすための新素材で、もっとぶっ飛ぶ。

CHROME SOFT シリーズ



クロム ソフト



クロム ソフト X



NEW

STARS & STRIPES
TRUVIS

Callawaygolf.jp



公益社団法人
日本パブリックゴルフ協会
会長（代表理事）

三野 哲治

日頃より当協会の事業活動に対しまして、ご理解ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。昨年を振り返ってみますと大阪北部地震、西日本豪雨、北海道胆振東部地震等の相次ぐ大規模な自然災害によって、大きく揺れた一年でした。被災された皆様に心よりお見舞い申し上げるとともに、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

さて、ゴルフ界に目を向けて、

昨年開催した第18回アジア大会ゴルフ競技では20年ぶりに男子個人・団体で金メダルを獲得、第10回アジアパシフィックアマチュア選手権では金谷拓実選手が、松山英樹選手に続く日本人2人目の優勝を飾り、マスターズと全英オープンの出場権を獲得しました。国際舞台で活躍出来る選手が出てきましたことは、強化策が確実に成果として出ているという証しでもあります。來たる2020年の東京オリンピックでのメダル獲得に期待が持てます。

ドリーム・エイジゴルフ大会に加え、

2018年度の3選手権競技（アマチュアゴルファーズ選手権・ミッドアマチュアゴルファーズ選手権・シニアマチュアゴルファーズ選手権）に1万2千名、アンダーハンディ競技等に1万4千名と大変多くのアマチュアゴルファーの皆様にご参加いただきありがとうございました。2019年につきましても「スポーツ庁長官杯第3回ゴルフフェスタ全国大会」をゴルフ・ウェーク期間中（8月1日～7日）に開催し、

当協会加盟28コースを含む全国74コース、1969名の皆様にご参加いただきました。2019年につきましても8月2日にPGS全日本スロープレートアンダーハンディ競技の開催を予定しておりますので、JGA/USGAハンディキャップインデックスをお持ちの皆様、そしてまだお持ちでない皆様も取得して、是非ご参加下さい。

最後に本年もゴルフ界諸団体、並びにアマチュアゴルファーの皆様より、一層のご支援ご鞭撻を賜ります様お願い申上げます。

魅力的な舞台作りと

競技ゴルファーの拡大に

取り組んでまいります

PGS 独占 インタビュー 岡山 絵里プロ

2011年、史上最年少で全日本女子パブリック選手権に優勝。その後、2013年には2度目の優勝を果たし、これもまた史上初の全日本大会2度目の制覇を成し遂げた。あれからわずか5年、昨年遂にツアー初優勝を飾り、将来を嘱望される女子プロゴルフ界のホープへと成長を遂げた岡山絵里プロに、今あらためて振り返るパブリックゴルフ選手権、プロゴルファーとしての現在そして未来を語っていただいた。

(取材・文／江崎 龍太)

目標はアメリカツアーパートナーレイヤー 1億円プレーヤー

「ジュニアたちに伝えたい『練習より大事なこと』」



岡山 絵里 (おかやま えり)

- 生年月日：1996年6月4日
- 出身地：大阪府四條畷市
- プロ転向：2015年
- 主な戦績：
2018年 リゾートトラストレディス優勝

協力／Café Adriano 撮影／山脇 貴史

持ち前の勝負強さで掴んだ、
最年少優勝と2度の全日本大会制覇

「史上最年少優勝」と「全日本大会2度の制覇」。その記録を知るなり、大きな瞳を輝かせ、当時の広報誌を手に取る岡山プロ。「へえ、そうだったんですね。知らなかつた！」「スゴいじゃん、私！」(笑)滋賀県のベアズパウジャパンカントリークラブで開催された第11回大会。初日75で6位タイにつけた岡山選手は最終日に69で上がり、トータル144ストロークで2位の嘉数舞美選手(当時15歳)に2打差をつけて優勝を飾った。その嘉数選手は初日79と出遅れたが、最終ラウンドの前半で32をマークする驚異的な追い上げを見せ、トータル67でホールアウト。しかし、遅れをとつて岡山選手も後半32で巻き返して逆転に成功した。「全日本大会という大きな舞台、優勝したいと思って出場しました。でも、今考えてみると、14歳ってやバくないですか！」(笑)。自ら達成した「最年少優勝」の偉業を噛み締め、思わず笑いが込み上げる。そして、その2年後に再びチャンスは巡ってくる。三重県のアリジカントリークラブ花垣コースで行われた第13回大会。首位に1打差の3位でスタートした最終日、同組の石川彩選手(当時16歳)とのマッチプレーとなつた優勝争いは、岡山選手が終盤の16番で15メートルのバー(ディパット)を沈め、68・71の139ストローク、通算5アンダーで全日本大会2勝目を手にしたのだ。

『岡山選手のプレーにはどこか落ち着いた雰囲気があった』と、当協会広報誌に記されるレポート。本人曰く、「勝負は最後の3ホールだと思っていた」の言葉のとおり、一進一退の攻防の中で、勝負所を見極めていた。成熟した技術は言うまでもなく、両大会の戦いぶりが彼女の勝負強さ、粘り強さを物語つて

第11回 全日本女子パブリック選手権



第11回 全日本女子パブリック アマチュアゴルフ選手権

順位	氏名	予選出場コース	1日目	2日目	計
1	岡山 絵里(京阪)	36 39 37 32 144			
2	舞美(宜野座)	40 39 32 35 146			
3	河野 美桜(富士・山中湖)	39 38 37 33 147			
4T	永井 花奈(八千代)	37 37 37 37 148			
4T	松田 唯里(紫香楽国際)	38 38 32 40 148			
6T	中村 美枝(レッド原野・原)	36 39 36 38 149			
6T	西村 美希(セントラージー赤原)	36 37 38 38 149			
8T	山内日菜子(トム・ワツソン)	39 39 37 35 150			
8T	石山 千晶(アオノ)	40 37 37 36 150			
8T	森井 菲(京阪)	37 37 36 40 150			

▲第11回大会の模様を報じる当協会広報誌

稼ぎ出し、賞金ランクは毎年最高の10位まで
2018年度は、およそ6500万円余を

好調なゴルフの裏で抱えていた 身体の故障

「昔、練習場で足場の「ゴムマット」の上からボールを直に打つていたことを思い出したんです。あの感覚で打つてみたら最終日はアイアンの調子がすごく良くなつて。こんな小さなことで変わるなら早く気づけよ…って（笑）全英女子オープンの最終日に2アンダーで回ることができたのはうれしかったですね」

メジャーの雰囲気を肌で感じながら、最終日は満足なプレーで締め括った。貴重な経験を土産に、帰国の途についた。



次ページに続く

「最初の優勝から時間も少し経っていたし、アマチュアランキンギングのポイントを上げたかったんです。この時は、まだナショナルチームの強化選手で、何としてもレギュラーチームに入りたかったので優勝は意識していました」

そんな彼女にとってのパブリック選手権は、どのよつた大会だったのだろうか。

毎年、本格的なゴルフシーズンが始まつて最初の試合。地区予選から全日本大会まで、仲の良いお友達と戦うことができる好きな大会でした。高ゴ連（全国高等学校ゴルフ連盟）の試合以外でみんなが集まる試合つて限られていないし、強い子が集まる大会つて限られてないじやないですか。だから私にとっては大事な試合でしたね」

念願の初優勝と 全英女子オープン出場を果たす

昨年、5月の「ローズートトラストレディス」で念願のレギュラーシーズン初優勝。勝みなみ選手をプレーオフで下したのは記憶に新しいところだ。プロ入り後、デビュー翌年の2016年には早くも頭角を現し、初シードを

「アプローチは花道でワンバウンドさせて転がしたり、エッジから長い距離をパターで転がしたり、日本ではやらないようなことを要求されるんです。自分の引き出しも増えました。それから、海外の選手はフェアウエイウッドが上手ですね。距離があるセカンドショットをスプーンやユーティリティでバーべーディチャンスにつけてくる。スコアは飛

く上がりがうかがえる。そして、目標を高く設定することで自らを奮い立たせてきた。もし勝てなかつたら、このままズルズル落ちてしまふだろうと思っていました。地面が硬く、アイアンが弾かれてボールが全部右へ飛んでしまふんです。バンカーにつかまり3連続でダブルボギーを叩いてしまつて……」7フローを叩いて大きく後退。リンクスの洗礼をまともに受けるも、きっかけを掴んでからの立ち直りは早かつた。

「昔、練習場で足場の「ゴムマット」の上からボールを直に打つていたことを思い出したんです。あの感覚で打つてみたら最終日はアイアンの調子がすごく良くなつて。こんな小さなことで変わるなら早く気づけよ…って（笑）全英女子オープンの最終日に2アンダーで回ることができたのはうれしかったですね」

「これまでノックをし続けてきた『優勝』の扉が開くのも間近と期待されてきた中での初優勝。「正直、『ゴルフの神様、そろそろ勝つもいよね』という思いでした（笑）プレーヤーはホールでもやってやろうという気持ちでしたが、勝さんが1ホール目でミスをすると思いませんでした。優勝できて嬉しかつたです。だって、2位では名前を覚えてもらえないですから！」

賞金ランキンギングも大きく躍進、全英女子オープンの出場権を手にした。将来的な海外参戦を視野に入れ、一度は経験しておきたかったメジャーの舞台。そのすべてを吸収しようと試合に臨んだ。

「4日間のうち、我慢の日が必ず1日あると思っていたら3日目に打つてしまいました。地面が硬く、アイアンが弾かれてボールが全部右へ飛んでしまふんです。バンカーにつかまり3連続でダブルボギーを叩いてしまつて……」7フローを叩いて大きく後退。リンクスの洗礼をまともに受けるも、きっかけを掴んでからの立ち直りは早かつた。

「ツアー参戦3年目、その言葉から自信と好調ぶりがうかがえる。そして、目標を敢えて高く設定することで自らを奮い立たせてきた。もし勝てなかつたら、このままズルズル落ちてしまふだろうと思っていたので、絶対に優勝しないといけないと思っていました。ただ、勝つことはできましたが、目標は7000万円と決めていた中で、あと2試合ぐらい優勝できそうなチャンスがありました。それを活かせなかつたのは課題が残ります」

「毎週末、リーダーズボードの上位に名を連ねてきた昨シーズン。順風満帆に見えた一方で、大きな悩みを抱えていたことを明かす。



▲当時の広報誌を手にする岡山プロ

上り詰めた。大躍進の一年を終え、好調を支えた要因を振り返る。

「まさトーナメントグリーンの硬さ、速さに慣れました。アマチュアのときはとても難しく感じていたけど、今は、グリーン全体をよく見て、狙いどころなど次の事をどんどん考えられるようになりました。それからメンタル面がよくなりましたね。私、すごい落ちこぼれにならぬのに、気持ちを切り替えればバーデイが来ることを学びました」

「実は、高校生の時から腰痛持ちで怪我が絶えず、7~8試合休みました。自分が思っている以上に身体の状態がよくなかったんです。練習しようというときに練習できなから技術も上がりないし、身体も痛むからそれを庇いながらプレーすることになり、後半は思うような成績が出せなくなっていました」

怪我がなければ、もっとやれたはず――。悔しさと共に、プロとして治療とトレーニングの重要性を知った一年と自らに言い聞かせ、来るべきシーズンに備える。

「それでもこの順位にいたのは、いい意味で身体を休めることができていたからかもしれません、もっと上に行こうと思ったら怪我はないほうがいいですよね。来シーズンは複数回優勝と怪我をしないことを目標に、今から準備に入ろうと思っています」

「ジュニアたちに伝えたい 練習よりも大事なもの」

「来年23歳になります。同じ歳のさきしょうさんは3勝しているし、森田遙さんはアマチュア時代からずっと先を行っている。後輩たちはもちろん負けられないし、自分たちの世代もまだ上を見ているので、彼女たちに早く追いついて1億円プレーヤーになりました！そして、将来はアメリカツアーに行きたいと思っています。シード権も取つて畠岡奈紗ちゃんのようになります！」

全英女子オープンに出場したこと、海外挑戦の思いも一層強まつた。だからこそ、体調を整えることの大切さも思い知った。そして、同期のライバルはもちろのこと、危機感が伝わってくる。そして、かつての

活躍目覚しい後輩世代にも負けるわけにはいかない。強調する言葉から、「うかうかしていられない」といった彼女の強い意思と、そして、同期のライバルはもちろのこと、危機感が伝わってくる。そして、かつての

自分がそうであつたように、プロゴルファーを夢見て日々白球を追い続けるジュニアゴルファーたちへ、今伝えたいメッセージを送る。

「プロを目指すなら、たくさん球を打つのもいいけど、その分、自分の身体のケアとトレーニング、それとクラブを握らない時間を作ることも大事だと思います。若い頃は、寝れば元気になるし、どんどん成長していくから良かったけど、長くゴルフを続けていきたいなら、練習した分と同じだけ身体を労わってあげることが大事です。お父さん、お母さんもそこにはお金をかけてあげて欲しいなって思います。それから、私はゴルフ部のある高校に通いましたが、ゴルフだけやっていたわけではなく、ゴルフ以外に勉強したことでもたくさんありました。部活のときは仲間と一緒にトレーニングや練習に励み、テストのときはクラスメートに教わりながら勉強をしていました。日々の生活の中で普通の高校生としての自分もあったし、プロゴルファーを目指す自分もあったし、ゴルフをやらないクラスメートとも仲良くなったり、高校生活は内容の濃い3年間で毎日がキラキラしていました。24時間じゃ足りないと思うほど、すごく楽しかったんです。今は通信制の高校などゴルフを続けていく上で選択肢もたくさんあるけど、いずれにしてもかけがえのない高校生活の時間を大切にしてほしいと思います。ゴルフはいつまでできるかわかりませんから、ゴルフだけの人生にしたくないと思っています。練習するのも大事だけど、練習よりも大事なこと、いっぱいあります」

COLUMN 1

パブリックコースで開催された 日本女子プロゴルフ選手権を取材して

久保田 誠一 ジャーナリスト／ゴルフ史研究家／当協会理事



ギャラリーは「傘」、人の顔はほとんど見えない

篠突く雨、傘を吹き飛ばす強風—ゴルファーにとって最悪といえる条件下で開催された第 51 回日本女子プロゴルフ選手権大会コニカミノルタ杯（2018 年 9 月 6 日～9 日）。競技は富山県射水市の小杉カントリークラブの南コースと北コースを使って行われた。パブリックコースでメジャー競技が開かれるのは 2001 年にロペ俱楽部（栃木県塙谷町）での第 34 回大会以来 17 年ぶり 2 回目のことである。日本のほかに韓国、中国、台湾、豪州、米国からも参加者があり、アジア No.1 を競う大会と謳われ、終盤に差し掛かった賞金女王レースの行方を占う一戦でもあった。

筆者は米国や英国における世界メジャー競技を取材していたが、日本のトーナメントの報道に携わったことはない。日本のゴルフジャーナリストの取材ぶりを自分の目で確かめたかったし、書く記事を検証する楽しみもあった。



女子プロの通常の競技は 3 日間で、メジャーに限って 4 日間。これは日本も欧米と同じである。筆者は富山市に宿を取り、レンタカーで現場とホテルを往復した。距離にして 20 キロ、プレスバスのお蔭でクラブハウスまで小一時間。報道陣用の建物はクラブ脇に建てられたプレハブで、大型テレビがしつらえられ、日本女子プロゴルフ協会（LPGA）の広報担当者がプレイヤーの談話や順位、各新聞の関連記事などを過不足なく配布してくれ、弁当も用意されていた。

競技の結果は先刻ご承知の通り、韓国のエース、申ジエが 2 位に 9 打差を付けての圧勝で、2 位タイにアン・ソンジュ、ジョン・ジェウン。上位 3 人が韓国勢。「これじゃ韓国プロ選手権だな」と、ベテランジャーナリストが嘆いた。

競技が終わると、上位に入った選手は記者会見場に入り、質問を受ける。そのあと会見場を出たところで、ゴルフ専門誌の記者たちが取り巻く。「囲み会見」である。30 年前、米国に来た日本選手は記者の鋭い質問にほとんど答えられなかつた。いまでは若い選手は堂々と応じている。この点は昔とちがつたなど感心させられた。テレサ・ルーなど日本でお馴染



◀小杉CCの専属プロ
浅井咲希さん



▲申ジエ選手
<Photo : Atsushi Tomura/Getty Images>

の選手は日本語で臆することなく記者団とやり合う。ゴルフが日本とアジアの交流の場になっていることを示す光景である。

申は 3 日目の 14 番パー 4 で一打を左に打って OB。彼女のティーショットは正確無比だから、OB は珍事と言つていい。OB のことを聞かれて「人生で OB は 6、7 回でしょうか。人生初の OB は日本ツアーで初優勝した 2008 年のヨコハマタイヤ PRGR 女子でした」と悪びれることなく答えた。1988 年生まれの 30 歳。10 年余プロ競技を続けていて、OB の数を覚えているのは凄い。翌日の各紙が取り上げると思って目を光らせたが、一般紙では掲載していたのは日経と毎日だけだった。

記者会見や囲み会見で、小祝さくらを初め数人の選手が「雨があれほど降っているのにグリーンの状態は素晴らしかった」とグリーンを称えた。



プレスルーム

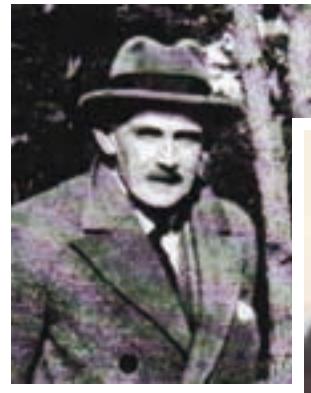
ところが、グリーンについてコメントした紙面にお目にかかるなかつた。これには失望した。大会を成功させた陰の立役者はグリーンキーパー達だった。誰も書かなかつた裏話を紹介する。

「2015 年に大会開催が決まってから、一番気を遣ったのはグリーンの管理でした。とくに今年は 7 月中旬から 23 日間、雨が全然降らず芝は仮死状態になりかけ、急きょタンクローリーで毎日 140 トンの水を夜中にコース内の貯水場に供給してもらいピンチをしのぎました。5、6 年前に排水が良くなかったグリーンには専門の業者に依頼して土壤検査をおこない、芝の根付きをよくしました。こんな努力があってグリーンは大雨にも負けなかつたと思いますね」（大坪真範グリーンキーパー）



▲申と新人プロ<Photo : Atsushi Tomura/Getty Images>

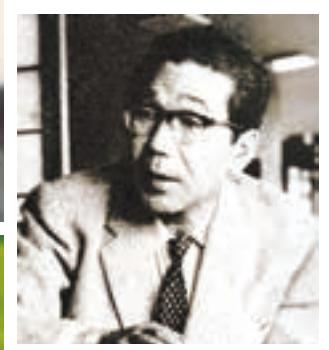
COLUMN.2



▲ヒュー・アリソン



▲井上 誠一



▲上田 治



東の井上、西の上田

久保田 誠一 ジャーナリスト／ゴルフ史研究家／当協会理事

ゴルフ設計界の両巨匠と目されるのは井上誠一と上田治である。ともに鬼籍に入っているが、同じ時代に活躍したライバルで、二人が設計したコースの多くは今でも名門と評されている。ともにヒュー・アリソンと接点があることも興味深い。

井上は名門の出である。1908年8月1日、東京赤坂に父誠夫、母茂登子の長男として生まれた。父の姓は木内、東大医学部を卒業し、井上病院赤坂を開業する。母は井上眼科病院創設者、井上達也の長女で、養子縁組だった。

成蹊小中高と一貫校で学び、その後は東大医学部、ドイツ留学を経て将来は井上眼科の後継者と期待されたが、高校時代に流行性脳炎を患い、学業を中断し川奈で療養生活を余儀なくされる。病状が落着くと父の勧めで川奈ホテル大島コース（大谷光明設計）でクラブを握る。そこで川奈ホテル新コース（富士コース）設計のためにやって来たヒュー・アリソンと遭遇する。設計図を手にコース予定地を見て回る外国人（アリソンはイギリス生まれ）を遠望しながら「これは面白そうだ。自分もやってみようか」と心が動く。30年12月、22歳の時である。

上田は1907年9月1日、大阪府宮元町に農業上田治兵衛の次男として生まれた。上田は自宅近くの茨木小学校、同中学校で学び、茨木高等学校に進学した。茨木中学の正門左手に「日本近代水泳発祥之地」と掛かれた石碑が立っている。ここに大正5年、全国に先駆けて学校プールが造られている。

彼は中学時代から水泳を始めた。水泳部には、高石勝男（自由形）、入谷唯一郎（同）、石田恒信（平泳）ら、中学生ながら大学生に引けを取らない有力選手が揃って、河童中学と呼ばれていた。上田も河童の一員になったわけである。

上田の名が全国に知られるようになったのは大正11年9月、東京・調布で開かれた第7回全国大会100メートル背泳で日本記録で優勝してからだ。中学4年、15歳の時である。翌大正12年、大阪築港の総合運動場で開催された第6回極東大

会の予選会で日本記録を更新し、マニラで行われた本大会で2位に入った。

井上が流行性脳炎を患い、東大進学を諦めて川奈で失意の療養生活を送っている頃、上田は水泳選手として大活躍して京都大農学部林学科に入り、芝の研究に勤しんでいた。対照的な学生生活である。

運命とは不思議なものだ。井上が母方の叔父に勧められ霞ヶ関カンツリー倶楽部の初代キャプテン、藤田鉄哉の下でコース管理の勉強をしていた31年2月、アリソンが現場監督、ペングレースを伴って現れた。アリソンを日本に招聘したのは東京ゴルフ倶楽部だったが、霞ヶ関カンツリー倶楽部（東コース、29年オープン）をすっかり気に入り、コースに何度か足を運び、4つのホール（9、10、14、17番）の改造を提言し、自分から改造案を作成した。

井上はアリソンとはからずも「再会」を果たし、アリソンが残した改造案に則って藤田の助手として東コース改造を行い、32年には新コース（西コース）を完成させた。井上はアリソンと、彼が同行したジョージ・ペングレースからプロのコースづくりを体得したわけである。

一方、上田は京都大学生時代の昭和6年（1931年）教授から廣野ゴルフ倶楽部から著名な外国人設計家のアシスタントを求めていると教えられた。上田は「何をやるのかわからなかつたが面白そうだ」と思い廣野に出かけた。アリソンは現場監督ペングレースを連れており、上田はいわば使い走り。それでもアルバイトの縁で廣野に就職し、設計家への第一歩を踏み出した。

井上はコースに向かない地形に手を出そうとしなかつたが、上田はブルを活用して山を削り谷を埋めてコースを造った。「柔の井上」「剛の上田」ともいわれるゆえんである。

設計コースは二人でおよそ100を数える。私は井上のコースでは大洗、上田のコースでは古賀が好きである。

2018年度

全日本アマチュアゴルファーズ選手権

競技結果

大会史の新たなる1ページを飾るのは誰か

競技ゴルファーなら誰もが夢見る「全日本大会」のステージ。厳しい予選、地区決勝を勝ち上がった者同士による真剣勝負は、ゴルファーを大きく成長させることだろう。すべてのアマチュアゴルファーに門戸を開いて半世紀。“アマチュアゴルファーの登竜門”として育まれてきた歴史と伝統がある。「全日本アマチュアゴルファーズ選手権」。今年、大会史の新たなる1ページを飾るのは誰か。



全日本アマチュアゴルファーズ選手権	12
全日本女子アマチュアゴルファーズ選手権	14
全日本ミッドアマチュアゴルファーズ選手権	16
全日本女子ミッドアマチュアゴルファーズ選手権	18
全日本シニアアマチュアゴルファーズ選手権	20
全日本女子シニアアマチュアゴルファーズ選手権	22
全日本ミッドシニアアマチュアゴルファーズ選手権	23
全日本グランドシニアアマチュアゴルファーズ選手権	24

細野勇策選手が大逆転で初優勝！「杜の都」決戦を制する

6月13日～14日、宮城県のグレースリッジカントリークラブで行われた全日本アマチュアゴルファーズ選手権は、細野勇策選手（15歳）が通算5アンダー、139ストロークで逆転初優勝を果たした。



バックナインを1イーグル、4バーディ。驚異の追い上げを見せた細野選手



神がかりのバックナイン。

5連続奪取で一気に抜け出す

東北初開催となる全日本アマチュアゴルファーズ選手権、初日トップに立ったのは末広大地選手（13歳）。4バーディ・1ボギーの69で、堂々リーダーズボードに躍り出た。1打差に児玉章太郎選手（17歳）、四位洗太郎選手（17歳）、さらに1打差に6名が並ぶ大混戦。初日から熱い戦いが杜の都で繰り広げられた。

快晴の青空が広がった最終日。じりじりと初夏の陽射しが照りつける中、戦いは混沌を極めた。前半を終えて最終組の児玉選手が通算4アンダーで頭ひとつ抜け出し、同組の末広選手、大嶋圭選手（15歳）、1組前の大嶋港選手（13歳）が3アンダーで続く。さらに谷本伊知郎選手（44歳）もスコアを伸ばしてきた。熾烈な優勝争いはもつれるよう後半へと進んでいく。

そんな中、最終組から3組前を行く細野選手が14番でイーグルを奪う。13番でバーディを獲った直後だけに「これは何がある」と感じた細野選手。残り150ヤードを9番アイアンで打った2打目は「アリーン上で球が消えるのが見えた」という会心のショット。続々15番は上りの10メートル、強いフックラインを描いた球がカップの真ん中から沈みこんだ。さらに16番は奥から下り6メートルのスライスライン、偶然にも同組選手がライン上のグリーン外からチップイン。「それを見てイメージが出た」と、連続バーディ。そして迎えた17番パー3。210ヤードを3番アイアンで



三野会長より優勝杯を受け取る細野選手

TOPICS
トピックス

見逃せない 社会人選手の奮闘

今年も社会人選手の活躍が大会を大いに盛り上げました。全日本大会に参加したミッドアマ以上の選手は44名。中でも、悲願のアマ選優勝を狙う谷本伊知郎選手(44歳)他、東日本B地区決勝3位の服部滋多選手(29歳)、グランドシニア覇者の岩波肇選手(70歳)など、若い選手に混じって上位進出を果たした社会人選手の健闘が光りました。世代を超えた真剣勝負こそ、アマチュアゴルファーズ選手権の醍醐味ですね。



◀存在感を示し続ける
谷本選手



最終ホールでバーディを▶
決める服部選手



▲若い選手たちと談笑する岩波選手（中央）



①「ここまできたら勝ちたい！」そう強く願いバッティングに臨む細野選手
②今年の西日本地区決勝を制した大嶋選手。その才能を遺憾なく発揮した
③追い上げも一歩届かなかった児玉選手。バックナインの37が悔やまれる
④初日リーダーの末広選手。最終ラウンドは伸びせず、2位タイに終わる
⑤最終日68で5位入賞。バーディで締め、ギャラリーに応える谷本選手
⑥初日の遅れを取り戻し5位タイの湯原選手。最終日は69と追い上げた
⑦最終ラウンド前半で伸びせずも、実力の高さを証明してみせた田選手
⑧10位タイから上位進出を狙った牧選手。最終日も72で8位タイに終わる
⑨最終日は入りの激しいゴルフでスコアを伸ばしきれなかった武田選手
⑩最終18番ホール、バーパットを外して、ガックリ肩を落とす末広選手



順位	氏名	出場コース	1R	2R	Total
1	細野 勇策	宇部 72 江畠池	72	67	139
2T	大嶋 宝	水島	71	70	141
2T	児玉章太郎	瀬板の森北九州	70	71	141
2T	末広 大地	那須野ヶ原	69	72	141
5T	谷本伊知郎	ディスター	75	68	143
5T	湯原 光	名古屋港	74	69	143
5T	田 修成	滋賀甲南	71	72	143
8T	牧 司	名古屋広幡	72	72	144
8T	武田 大輔	ディスター	71	73	144

打った球は手前左のピンを越え、一段グリーン上段で止まった。カップまで20メートル、下りのスライスライインがはつきり見え、直感で「入る」と悟った細野選手。「ショートだけはするまい」とストロークした球は、想像したとおりに曲がり、吸い込まれるようにカップへと沈んだ。18番はバーディを逃したもの、「これでほぼ行けるだろう」と優勝を確信。通算5アンダーで優勝を待った。一方の最終組は17番を終えて4アンダーベーの末広選手が18番でボギー。大嶋宝選手、児玉選手と共に通算3アンダーで終了。細野選手の劇的な初優勝が決まった。

前半でスコアを落としていた細野選手。「せっかく仙台まで来たのだから最後まで諦めずにやろう」と繋いだ気持ちがミラクルを呼び込んだ。「あの5ホールだけはどこから打っても入るような気がした」と興奮気味に話す。おもしろそうな大会があると思い、今回初めてエントリー。実家の山口県から新幹線を乗り継いでやってきた。「それだけに優勝できて本当にうれしい」と、笑顔を輝かせた。

2年連続3位の平岡瑠依選手がプレーーオフを制して悲願の初優勝

第18回全日本女子アマチュアゴルファーズ選手権は、平岡瑠依選手（18歳）が2日間トータル1アンダー、143ストロークをマーク、ともに並んだ西岡利佳子選手（16歳）をプレーーオフで下して初優勝を飾った。



最終ラウンド、悲願の初優勝へ向け
好スタートを切った平岡選手



三野会長より優勝杯を
受け取る平岡選手

2日間の悪天も味方に変えた勝利

低気圧の影響を受け、雨が降り続いた2日間。初日74とやや出遅れた平岡選手が最終日に一気にスコアを伸ばした。

最終組から2組前でスタートした平岡選手は3番をボギーとするも、4番で下り10メートルのスライスラインを見事読み切りバーーディ。これで波に乗ると、7、8番で連続バーーディを奪い、順調にスコアを伸ばしてイーブンまで引き戻す。

一方、最終組は思うようにスコアを伸ばせず、ハーフターンで平岡選手が一気に逆転。だがバックナインに入るとコースに雷鳴が轟き、強い雨が打ちつけ中断となつた。前半を2アンダーとしていた平岡選手の心配は最終日が中止となり、初日のスコアがそのまま最終スコアとなってしまうこと。「今年で出場最後となる今大会に悔いだけは残したくない」。平岡選手は降りしきる雨が一刻も早く止むように願つた。

そんな願いが通じたかのように、上空からは陽射しが差し込み、約45分後に競技は再開。前半の勢いそのままに11番でバーーディを奪うと、15番はボギーとするが、16番でバーーディを取り返す粘りを見せ、トータル1アンダーで首位に立つ。

しかし、最終組の西岡選手もバックナインで怒濤の追い上げを見せ、同じくトータル1アンダーでホールアウト。決着はプレーーオフへともつれ込んだ。

「中学一年生で経験して以来、6年ぶりのプレーーオフです。楽しんできます」。適度にリラックスした平岡選手は1番ホール（パー4）のティーグラウンドへ向かつた。迎えた1ホール目、平岡選手のティーショットは右ラフへ、対する西岡選手も左ラフ。125ヤードを9番アイアンで振り抜いた平岡選手のセカンドショットはピン右横8メートルヘオン。一方、西岡選手はフライヤーの影響を受けわずかにグリーンオーバー。アプローチを寄せきれずボギーとした西岡選手に対し、平岡選



①名前の由来は、あの“ラモス瑠偉”から。静かなる闇志で頂を狙う
 ②敗れはしたものの、2日間通算9バーディの爆発力を見せた西岡選手
 ③あと一歩及ばず3位入賞の稻垣選手。終盤に1つバーディがくれば……
 ④2日間で7バーディを獲りながら、初日インの41が悔やまれる仲村選手
 ⑤初日の出遅れが響いた梶谷選手。最終日に巻き返し才能の片鱗を見せる
 ⑥5位タイの古川選手は2日間アウト・イン共に37と、やや不満の表情
 ⑦高木選手は2日間でバーディ5個の貯金を活かしきれず、5位タイ
 ⑧2日間を通じて雨。最終日は一時強い降りに中断を余儀なくされた
 ⑨最終ラウンド、インコースの35が光る13歳の川畑選手は単独8位
 ⑩初日トップの勝見選手は最終ラウンドで崩れて9位タイ。涙を見せた
 ⑪プレーオフが決着し、お互いの健闘を称えて握手する平岡選手と西岡選手

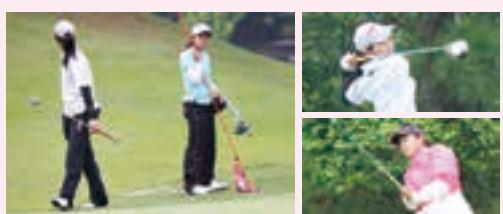


順位	氏名	出場コース	1R	2R	Total
1	平岡 瑠依	シード・北神戸	74	69	143
2	西岡利佳子	アオノ	73	70	143
※プレーオフの結果、平岡選手が優勝					
3	稻垣那奈子	ワインザーパーク	72	73	145
4	仲村 果乃	ダンロップ	75	71	146
5T	梶谷 翼	花回廊	77	71	148
5T	古川莉月愛	名古屋港	74	74	148
5T	高木 美佑	名古屋港	73	75	148
8	川畑 優菜	ワインザーパーク	75	74	149

TOPICS
トピックス

神谷そら・神谷もも 姉妹が、揃って出場

昨年の同大会優勝者、神谷そら選手(15歳)と妹の神谷もも選手(12歳)が揃って全日本大会に出場。初日は姉妹仲良く揃って78と24位タイにつけ、最終ラウンドは同じ組でのプレーとなりました。もも選手は今年初出場ながら、地区決勝を79・80の159ストロークの8位で通過。服装もスイングもそっくりな二人、今回はそら選手が思わぬ不調だったこともあり、成績はもも選手に軍配が上がりました(巻末成績表参照)。



最終ラウンドを終え、軍配は妹のもも選手(右)上：神谷そら選手／下：もも選手

手はきっちりバーをセーブして決着、平岡選手の嬉しい大会初優勝が決まった。「最後の50センチのバーは手が震えました」と苦笑いを浮かべた平岡選手。プロトーナメントでも上位に名を連ねた経験を持つ平岡選手だが今大会への思いは強い。「2年連続で3位。なんとしても優勝したかったので、本当に嬉しいです」アマチュアの試合は2018年が最後。「この優勝はプロテストに向けて大きな自信になります」と勝利の喜びを噛みしめた。

北谷孝幸選手がタフなコースを制し、初優勝を挙ぐ

9月18日～19日、兵庫県のよみうりゴルフウエストコースで行われた全日本ミッドアマチュアゴルファーズ選手権は、北谷孝幸選手（50歳）が通算イーブンパーの144ストロークで、初優勝を果たした。



西村副会長より優勝杯を受け取る北谷選手



「優勝カップを持ち帰る！」
強い気持ちで大会に臨んだ北谷選手



長男の突然の喘息で出場をためらう
も、好調なパッティングで逃げ切る

「幼い息子との約束を守りたい」という父親のパワーがゴルフに宿ったようだ。初日、出場選手でただ一人アンダーパーをマークした北谷選手が最終日も73でファイニッシュし、2位に3打差をつけて大会初優勝を飾った。

試合前日、息子の匡翼君（5歳）が突然、喘息の症状を発症。救急車で搬送された。「突然の出来事で、正直ゴルフどころではなく、出場を取りやめるつもりにしていました。ただ試合当日になつてなんとか症状も治まり、妻も『大丈夫だから行っておいで』と言つてくれて……』と不安を抱えながらの出場だったと振り返る。

だが羅針盤は試合出場を指した。こうなれば後は自分のプレーをするだけ。苦しんだ匡翼君にできることなら優勝カップを持ち帰りたい、その気持ちがこれまでタイトルとは無縁だった北谷選手に力を与えたかのようだ。

7196ヤード、グリーンスピード11フィート強というタフなセッティングで行われた2日間。初日の1番パー4でパー5を奪うと、そのまま勢いに乗り5パー5、4ボギー、トータル1アンダーとし2位に2打差をつけて首位に立つ。

2日目に入つても勢いは止まらず、初日と同じく1番でパー5、6番パー5では6メートルのバー・ディ・パットをねじ込んだ。出入りの激しいゴルフではあつたが前半を1オーバーで終える。

そんな展開の中、虎視眈々と北谷選手を追っていたのは同組で2打差スタートの黒川博之選手（44歳）。5番パー3でバー・ディを奪つた時点



順位	氏名	出場コース	1R	2R	Total
1	北谷 孝幸	西神戸	71	73	144
2	黒川 博之	高松	73	74	147
3	谷本伊知郎	シード・高松	75	73	148
4	宮谷 佳宏	ベアズパウジャパン	75	74	149
5	長野 智之	古河	73	78	151
6T	井上 泰人	ワールド	79	73	152
6T	田中 陽介	グランドオーク	78	74	152
8T	福本 徹	北神戸	77	76	153
8T	芝田 康司	よみうりウエスト	77	76	153
8T	山村 嘉人	名古屋港	75	78	153

① タフなコースも何のその。愛息のため、気合いがこもる北谷選手
 ② 終盤でパーティが獲れず、あと一歩詰め切れなかった黒川選手
 ③ 1番のダボが響いたか、大会5勝目は持ち越しとなった谷本選手
 ④ 宮谷選手は10番でイーグル奪取も、7ボギーで追い上げならず
 ⑤ 前半の42が響いた長野選手は、後半バーパーで5位に留まる
 ⑥ 2日間を通じ、インコースで伸ばせなかつた芝田選手は8位タイ
 ⑦ 最終日前半35で優勝戦線に浮上した山村選手。後半で崩れ8位タイ
 ⑧ ここでの優勝経験もある、西日本地区覇者の福本選手は8位タイ
 ⑨ 上位入賞を目指した兼松選手だったが、後半42を叩き11位タイ
 ⑩ 程よい緊張感の中、熾烈なマッチレースとなった北谷選手と黒川選手

ただ気になるのは、これまで4度この大会を制している3組前の谷本伊知郎選手(45歳)のスコアだ。初日は3オーバーとし出遅れたが、谷本選手は北谷選手も百も承知。巻き返しは覚悟していた。案の定、2日目に入つて谷本選手も実力を発揮したが73。トータル4オーバーで北谷選手に追いつくことはなかつた。自分でも驚きだという日本一。「もう一度しろと言われてもできないくらい上出来のラウンドだった」と照れ笑いを浮かべた北谷選手。匡翼君に冗談半分で約束した優勝カップも持ち帰ることができた。「全日本を制した実感はまだないのですが、喘息でも頑張った匡翼にこの優勝カップを持たせてやれることが今は一番の誇り」と清々しく話した。

TOPICS トピックス

元プロ野球選手の石井一久さんが挑戦！

今年の全日本ミッドアマチュアゴルファーズ選手権。東日本地区決勝には、元プロ野球選手の石井一久さんが出場されました。現役時代はシーズンオフの1ヶ月しかプレーできなかつたといふ石井さん。引退してからは週1回のラウンドを欠かさず、メキメキと上達。昨年から本格的に競技ゴルフに挑戦するよう



なつたそうです。ひとくわ大きい身体が目立ちますが「大きいものよりショートゲームが得意」という石井さん。2日間通算155ストローク、16位タイで見事全日本大会進出を果たされました(大会は欠場)。次回のチャレンジをお待ちしております！

たが、2打差の射程圏内で折り返す。だが北谷選手もプレーに隙はなく、後半10、13番でバー、14、18番でボギーとしたもののこの日を1オーバー、トータル4オーバーで北谷選手に1打差と肉薄。6番でボギーとし

たが、2打差の射程圏内で折り返す。だが北谷選手もプレーに隙はなく、後半10、13番でバー、14、18番でボギーとしたもののこの日を1オーバー、トータル4オーバーで北谷選手を振り切つた。

ミッドアママルーキーの川井悠主選手が僅差を守り初優勝



▲三野会長より優勝杯を受け取る川井選手



初出場の試練を乗り越え、見事初優勝した川井選手▲

一度は自滅するも、集中力を繋いで立て直す

ミッドアマ初出場の川井選手がベテラン2人を相手に大きな経験と勝利を手にした。初日、82でトップに立った川井選手。雨が強かつた午前中はスコアメイクに苦しみ45を叩くも、後半1バー・デイ・2ボギーの77。最終ホールでバー・デイを獲り、「明日に繋がる」と前を向いた。

最終日も予報どおりの雨。朝から冷たい風と共にボンヤリ、ボソリと弱い雨が降り始めた。

「ミッドアマは強い選手が多いと聞いている。初めてだし、尻込みしてしまうかも」と川井選手。無理もない。一打差の2位に吉川美香選手(49歳)、鷹野美紀選手(42歳)、内山汐里選手(47歳)といいぞれ劣らぬ実力者が名を連ねる最終組。まして悪天候の中では経験の差が大きく左右する。それでも前半は39でホールアウト。吉川選手と内山選手は41、鷹野選手は46を叩いてはいけない方へつてしまつた」と、表情が歪む。

5月30日～31日、兵庫県のダンロップゴルフコースで行われた全日本女子ミッドアマチュアゴルファーズ選手権は、川井悠主選手(25歳)が通算20オーバー、164ストロークで初優勝を果たした。



後退。川井選手と吉川選手、内山選手との差は、一時最大で4打まで広がった。しかし、磐石を築きかけていたところ14番パー4でトラブルが待っていた。ティショットのミスから残りおよそ85ヤードの第3打。「距離に迷いがあったまま打ってしまった」球はグリーンに届かず池に。寄らず入らずで、致命的な9打を要し通算19オーバーに後退。吉川選手と内山選手が18オーバーで労せずトップタイに並んだ。中部日本地区決勝5勝を誇る吉川選手、内山選手は一年前4位、昨年3位の実力者。どちらも巡ってきたチャンスを逃さたくない。「今年こそ」の思いは誰よりも強い。川井選手も、このまま後退するわけにいかなかつた。

その後、15番で内山選手が単独首位に浮上したが、16、17番と連續ボギー。3人が通算20オーバーで並んだ18番パー5。勝負を左右する第3打、吉川選手はグリーン左の手前、内山選手は奥へオーバー。川井選手はグリーンを捕らえたものの、難しい右サイド。「つけてはいけない方へつてしまつた」と、表情が歪む。



① アドバンテージを築いたものの、大きな試練が川井選手を待っていた
② 悲願の全日本制覇へ、中部最強の吉川選手にもチャンスが巡ってきたが……
③ 一歩ずつ階段を上ってきた。今年に懸ける思いは誰よりも強い内山選手
④ 最終日はスコアを落としたものの、4位タイに踏み止まった明珍選手
⑤ 西日本地区の覇者、足立選手は最終日82で4位タイに浮上。存在感を示した
⑥ 初日から強い雨が選手を苦しめた。最終日も激しい降りによって一時中断も
⑦ 2年ぶりに出場の福村選手は、入賞にわずか届かず単独6位に終わる
⑧ 上位入賞を目指し、奮闘した前田選手。ベストテン圏外から7位に浮上
⑨ 出だしでパーイ発進も、その後は精彩を欠き8位に後退した鷹野選手
⑩ 最終ホール、右からのバットを寄せる川井選手。思わず表情に力が入る



順位	氏名	出場コース	1R	2R	Total
1	川井 悠圭	奥津	82	82	164
2T	吉川 美香	名古屋港	83	82	165
2T	内山 汐里	シード・昭和の森	83	82	165
4T	足立由紀子	シード・京阪	88	82	170
4T	明珍あかね	名古屋港	84	86	170
6	福村 香名	シード・グランドオーク	85	86	171
7	前田 英里	名古屋港	87	85	172
8	鷹野 美紀	シード・滋賀甲南	83	90	173

TOPICS
トピックス

3人目の20歳代
チャンピオンが誕生！

平成27年にミッドアマの参加資格が「25歳以上」に引き下げられてから、3人目の20歳代チャンピオンが誕生しました。岡山県の作陽高校で腕を磨いた川井選手。先輩には藤本麻子プロや東浩子プロがいらっしゃること。その後、立命館大学へ進み、現在は医療福祉施設で働いていらっしゃるそうです。

今年の全日本大会に出場した20歳代選手は5名。2日間、悪天候が続いたこともあります。コア的には過去12回中ワーストの優勝スコアとなりましたが、30歳代から40歳代が主流のミッドアマの中あって、やはり強さを発揮しています。



しかし、吉川選手、内山選手共に寄せきれずボギーとしたのに対し、難しいファーストパットを寄せてパールアウト。息詰まるような接戦は川井選手の勝利で幕を閉じた。
「ずっと1打差だったので、精神的にしんどかった。周りを気にしすぎていて、自分のプレーに集中しようと考え方直した」と苦笑した胸の内を明かす川井選手。「14番はさすがにカクッときました。逆転されて焦りましたが、接戦だったので一度集中し直したのが結果に繋がったと思います」と、笑顔で激闘を振り返った。

澤田信弘選手が18番ホールのバーイで連覇を決める！

6月27日～28日、千葉県の浜野ゴルフクラブで行われた全日本シニアアマチュアゴルファーズ選手権は、澤田信弘選手（55歳）が通算6オーバー、150ストロークで昨年に続く連覇を達成した。



▲三野会長より優勝杯を受け取る澤田選手

▲強風の中、我慢のゴルフで連覇を決めた澤田選手

強風吹き荒れる中、連覇を目指して我慢のプレーに徹する

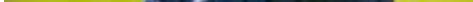
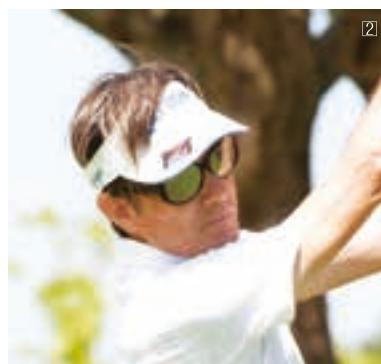
気温30度を超す暑さに加え、風速10メートル近い強風が朝から吹きつけた。樹木は激しく揺れ、帽子が吹き飛ばされそうな程の熱風。そんな中、「やるからには勝ちを考えている」と、連覇を狙う澤田選手も元気よくスタート。しかし、風は想像以上に手強かった。インスタートの18番パー5、マークをしていた僅か50センチのパットがボールを置いた途端、風によって10メートル近く動かされてしまったのだ。このホールをボギーとし、前半を38で折り返す。長尺パターを使う澤田選手、「風でパターが揺れるので神経を使う」と難しいパッティングを強いられ、バーイがなかなか来ない。結局、アウトは1ボギーの37。トータル75でホールアウト。それでも1打差で単独首位に立った。2位には川端敏選手（57歳）、神谷茂選手（54歳）、鈴木東一選手（60歳）が続いた。

初日ほどではないものの最終日も風は強く、ほぼ同じ暑さ。厳しい気象条件下でのラウンドは変わらない。澤田選手始め、最終組全員がボギー発進となつた。川端選手はその後もボギーが止まらず、前半44で大きく後退。澤田選手（38、神谷選手40、鈴木選手40）で後半へ折り返す。その間、前半を37でターンした最終組から3組前の西口道明選手（59歳）が10番ボギーの後パー7オーバー。そして、終盤に入つて16番で西口選手がバーイを奪い遂に2人が並ぶ。西口選

TOPICS
トピックス

強風と暑さも吹き飛ばす、元気なシニア選手

幾多の名勝負が繰り広げられてきた浜野ゴルフクラブで開催されたシニアアマチュアゴルファーズ選手権。同時開催のグランドシニアと併せ、参加選手の皆さん、コース攻略に苦労されていましたが、吹き荒れる強風をものともしない健脚ぶり。また、キャディさんとのコミュニケーションを楽しむ選手も多く見受けられました。



①トラブルも跳ね返し、トップアマの貴様で2連覇を達成した澤田選手

②最終日のベストスコア73で、澤田選手にプレッシャーをかけた西口選手

③土岐選手も難しいコンディションの中、我慢のゴルフで大健闘を見せた

④最終組の6組前から急浮上。最終74で追い上げ、4位入賞の川満選手

⑤最終日前半で澤田選手に並ぶも、後半出だしの7が悔やまれる衣笠選手

⑥最終日も暑さと強風の中、熾烈な上位争いが繰り広げられた

⑦1番、10番ティー側から望む美しいクラブハウス

⑧最終ホールをパーティで締め、ホールアウトする澤田選手



手は17、18番をパーで上がり後続を待った。一方の澤田選手は16番で難しい状況を迎えていた。ティーショットは右ラフ、しかも球は潜つており、バンカー先の左ピンを狙うには厳しい状況にあった。

バンカーの右側、グリーン右のベロの部分を狙つていこうと決めた。30メートルぐらいのファーストパットが残るが、左のバンカーに入れるよりはいい。「勝負をかけた」というセカンドショットは狙いどおりにグリーン右側をとらえ、予想どおりのロングパットが残ったが、これを2パットのパーで収めた。そして最終18番、ティーショットとセカンドショットをうまく繋ぎ、残り約60ヤードの3打目、「ピン左下の1メートルを狙つた」ショットは3メートル弱残ったが、上りのややスライスラインを沈めて本大会初バーディで締め括り、見事2連覇を達成した。

「最終ホールは数字のことは考えず入れることだけ考えていました。16番ホールをパーで上がれたのが勝因でした」と難しい戦いを振り返り、連覇の達成を喜んだ。



順位	氏名	出場コース	1R	2R	Total
1	澤田 信弘	シード・よみうりゴルフ	75	75	150
2	西口 道明	名古屋広幅	78	73	151
3	土岐 明彦	森林公園	77	75	152
4	川満 源次	守礼	80	74	154
5	衣笠 洋司	シード・サンクチュアリ霞南	77	78	155
6T	児島 達之	森林公園	81	75	156
6T	南 正樹	ベアズパウジャパン	80	76	156
6T	林 恵一	八千代	78	78	156
6T	神谷 茂	名古屋港	76	80	156

全日本女子シニアアマチュアゴルファーズ選手権

10月10日～11日／愛知県：ウッドフレンズ森林公園ゴルフ場・5,611Y・パー72／参加人数：43名



▲2度目の連覇と大会4勝目を果たした小田倉選手

10月10日～11日、愛知県のウッドフレンズ森林公園ゴルフ場で行われた全日本女子シニアアマチュアゴルファーズ選手権は、小田倉富士子選手（57歳）が通算13オーバー、157ストロークで連覇を達成。通算4度目の優勝を果たした。



▲小田倉選手に1打差まで迫る大健闘を見せた田島選手



▲仁科選手は後半でスコアを落とし、2位タイ

小田倉富士子選手が2度目の連覇

大会4勝目を飾る

不調の中でもがき苦しめ
掴んだ大きな勝利

「今まで一番苦しい優勝ですね」。2度目の連覇、過去最多となる通算4度目の優勝を決めたというのに、小田倉選手は瞳にうつすら涙を浮かべた。3連覇を逃した平成27年より苦しかったとは、一体どういうことなのだろう。

初日、79で首位の仁科理恵選手（52歳）、河田圭子選手（55歳）に2打出遅れたが、スコアには満足していた。今年は全くの不調。ディフェンディングチャンピオンの楽しさなんて何もなかつた」というほど不調だったのだ。

最終日、序盤こそ堅実なゴルフでパーを重ねていくが、スタート4ホール目の13番パー5で象徴的な出来事が起きた。100ヤードを切った3打目は、僅か数センチ足らず、手前のバンカーにつかかる。さらに「砂が雨で縮まっていたし、クリーンに打った」はずの4打目がトップしてグリーンオーバー。アプローチも失敗し、痛恨のダブルボギーを打ってしまうのだ。続く14番パー3でバーディを取り返すも、17番パー5では3パット。しかし、それでも前半は38、最終組の河田選手が38で通算7オーバーの単独首位、39の仁科選手が1打差、さらに1打差で小田倉選手が続く。実はしつかりと射程圏につけていたことを本人は知らない。

折り返しての2番パー4、またも小田倉選手の表情が歪む。なんと3メートルのバーディパットを3パット。4番パー3で2個目のバーディを取ったものの、6番パー5でまたも3パット。そして9番もボギーとなり返して後半38、後悔と反省が渦巻く中フィニッシュした。ところが、勝負はわからない。最終的にスコアが伸びず、田島和美選手（56歳）と仁科選手を1打抑えて連覇が決まったのである。

傷心の渦中にいた小田倉選手はすぐに信じられないかったのだろう。思わず、しばし茫然と立ち尽くす。振り返れば2個のバーディはパー3。元来稼ぐはずの

「P.G」
2人目の3連覇挑戦が待っている。
やがいもあります」
さあ、58歳になる来季は岩佐洋子選手に続く、史上
最高レベルの人たちに立ち向かうのは辛いけど、
楽しいからやめたたくない。それに、この2日間少し気
持ちが落ち着けたから」と、ようやく笑顔になった。
30歳を過ぎて覚えたゴルフは、いつしか競技の虜になつた。「苦しい時もあるけど、一生懸命やれることは
パ-15では僅かパー1個。苦しかったはずである。
関東にはプロを目指していた人や強いアマチュアが多
い。高いレベルの人たちに立ち向かうのは辛いけど、
やがいもあります」

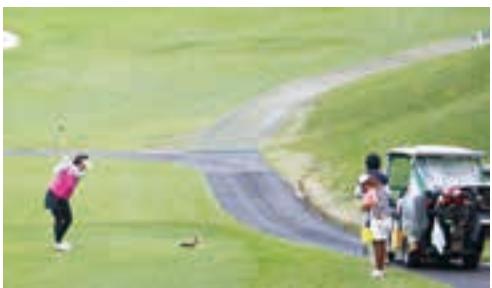
2人目の3連覇挑戦が待っている。



▲5位 平田優子選手



▲4位 河田圭子選手



順位	氏名	出場コース	1R	2R	Total
1	小田倉富士子	シード・紫あやめ	36	79	157
2T	田島 和美	シード・名古屋港	79	79	158
2T	仁科 理恵	昭和の森	77	81	158
4	河田 圭子	岡山空港	77	83	160
5	平田 優子	シード・森林公園	80	81	161
6	篠田富美子	名古屋港	78	84	162
7T	高橋 麻由	森林公園	86	77	163
7T	上村ひろみ	シード・オールドオーチャード	84	79	163

全日本ミッドシニアアマチュアゴルファーズ選手権

10月10日～11日／愛知県：ウッドフレンズ森林公園ゴルフ場・6,409ヤード・パー72／参加人数：132名



▲粘りのゴルフでプレーイングに持ち込んだ小川選手

10月10日～11日、愛知県のウッドフレンズ森林公園ゴルフ場で行われた全日本ミッドシニアアマチュアゴルファーズ選手権は、通算2オーバー、146ストロークで並んだ小川竹男選手(71歳)と茂泉勝夫選手(69歳)によるプレーイングの結果、小川選手が初優勝を果たした。



▲2位入賞の茂泉選手



▲お互いの健闘を称え、握手する両選手

小川竹男選手がプレーイングを制し初優勝を決める

勝利を呼び込んだ粘り
土壇場でプレーイングに持ち込む

平成18年の第3回大会（名古屋広幡ゴルフコース）以来、12年ぶりの中部日本地区での開催となった今回、初日首位に立ったのはウッドフレンズ森林公園ゴルフ場をホームコースとする茂泉選手。ただ1人アンダーパーの71をマークした。以下、上位を締めたのは中部勢の選手で、最終ラウンドは最終組から3組までの12名中、中部日本地区以外の選手は3名のみ。首位から3打差までに9名がひしめく大混戦となつた。

茂泉選手は2年前の今大会で2位タイに入賞しているが、中部日本地区での優勝経験はない。コースを熟知する茂泉選手がどこまで粘れるか、注目はそこにあつた。

前半を終わり、39で上がった茂泉選手が依然首位。2位は同じく最終組の小川選手が1打差。迎えた10番パー4、小川選手の放ったティショットは左のカート道路で跳ね、コロコロと前方へ転がっていく。2打目地点に行くと球が見つからない。ロングヒッターの小川選手の球はなんと、OBゾーンまで転がっていたのだ。打ち直しに戻った小川選手。茂泉選手はパーでイを奪い、差が「4」に広がるところだったが、小川選手は1パットのボギーで凌ぎ、3打差で食い止めた。結果的に、この1打が小川選手の初優勝を呼び込むことになる。

12番パー4で小川選手がパーでイを奪い、その差は「2」に。そこから4ホールは互いにパーを重ねる。茂泉選手の粘りも相当なものだ。ところが、小川選手が17番パー5で上から7メートルのパーでイを入れてプレーイングをかけると、最終18番ホールで茂泉選手が痛恨のボギーを打つて並んでしまったのだ。

1番パー4で行われたプレーイングは1ホール目に小川選手が3メートルのパーでイを決め、あつけなく決着。「スライスラインだけど、左端を狙ってしっかり打



た」という会心のパットだった。
PGS競技では過去にシニア2位など実績のある小川選手だが、実は悔しい思いの方が多いという。「初日首位の経験が結構あるのですが、最終日に崩れる。気が弱いんですよ（笑）」と自嘲気味に笑う。2年前の大会でも初日71で首位に立ちながら最終日に86を打ったという経験がある。

毎朝のランニングと近くの公園で器具を使つたトレーニングを欠かさない努力の人。突然舞い込んでいた日本一のタイトルに「夢みたい！」と繰り返した。



▲4位 岩波肇選手



▲3位 岩井正一選手



順位	氏名	出場コース	1R	2R	Total
1	小川 竹男	亀山	73	73	146
2	茂泉 勝夫	森林公園	71	75	146
※プレーイングの結果、小川選手が優勝					
3	岩井 正一	八千代	73	76	149
4T	岩波 肇	シード・富士見高原	78	72	150
4T	内藤 良司	森林公園	76	74	150
4T	北川 富重	アリジ	75	75	150
7T	菅原 健	シード・西神戸	76	75	151
7T	古賀 紅	シード・名古屋広幡	74	77	151

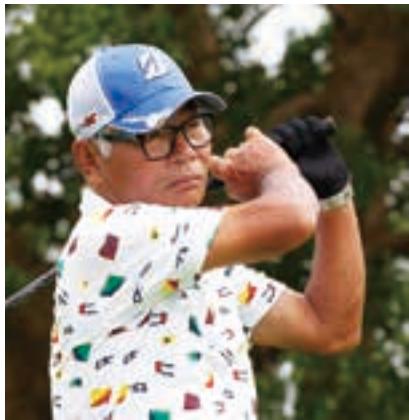
全日本グランドシニアアマチュアゴルファーズ選手権

6月27日～28日／千葉県：浜野ゴルフクラブ・6,178ヤード・パー72／参加人数：39名



▲2度目の出場で念願のタイトルを手にした岩波選手

6月27日～28日、千葉県の浜野ゴルフクラブで行われた全日本グランドシニアアマチュアゴルファーズ選手権は、岩波肇選手（71歳）が通算6オーバー、150ストロークでグランドシニア初優勝を飾った。



▲最終日に巻き返し、2位タイに入賞した岩永選手



▲連覇ならずも、さすが2位入賞に食い込んだ水野選手

岩波肇選手が4打差をつけ、グランドシニア初優勝

バックナインのトラブルも、余裕で逃げ切る

真夏のような暑さに加え、風速10メートルに近い強風が吹きつけた初日。難しいコンディションの中でトップに立ったのは岩波選手。強風をものともせず、2バーディ、4ボギーの74。1打差の75に北原弘選手（72歳）、3打差の77に佐藤勝美選手（74歳）、西山靖彦選手（70歳）が続く。

岩波選手は、この大会の2週前にはレギュラーのアマチュアゴルファーズ選手権にも出場。若いゴルファーと覇を競い、堂々24位タイの成績を収めている。「若い子たちには場所によって80ヤードぐらい置いていかれるけど、上がってみるとスコアは一緒。彼らと回ることでスコアの作り方が勉強になるんです」と笑顔で語る。

最終日も初日とほぼ変わらない暑さと風。キャディマスター曰く「こんな風、ここ何年もなかった」という程の中、最終ラウンドがスタート。岩波選手はリズムよくパーを積み重ね、14番でバーディ奪取。17番でボギーを叩いたが、難しいコンディションの中で前半をパープレーで折り返す。これに対し北原選手41、佐藤選手39、西山選手41と、その差は益々広がり、岩波選手が独走態勢を築きつあった。

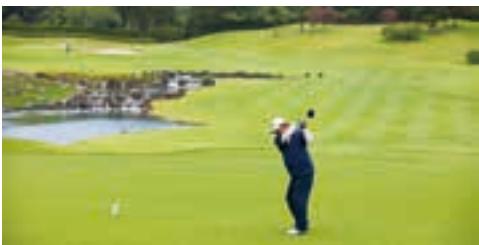
しかし、後半に入り岩波選手にも試練が待っていた。4番のパー4、ティーショットをフェアウェイ左サイドの樹木に当ててしまい、左の林を越えようとした6番アイアンで打った2打目がまたも林の先端に当たる。この球がロストボールとなり、打ち直しに戻る。右サイドに刻んだ球は残り約50ヤード。この5打目がグリーン奥にこぼれてやっかいなラフに。続くアプローチを半も30台で回りたい」と気を引き締め直した岩波選手。その後8番でバーディを奪つて1つ返したが、後半は40でホールアウト。この日76でトータル150ストロークとした。2組前の岩永直幸選手（70歳）が、最終ラウンドを74、1組前の水野進一選手（70歳）が、最

と追い上げたが、いずれも岩波選手に4打届かず。前半の貯金を活かした岩波選手が念願だったグランドシニアのタイトルを手中に収めた。

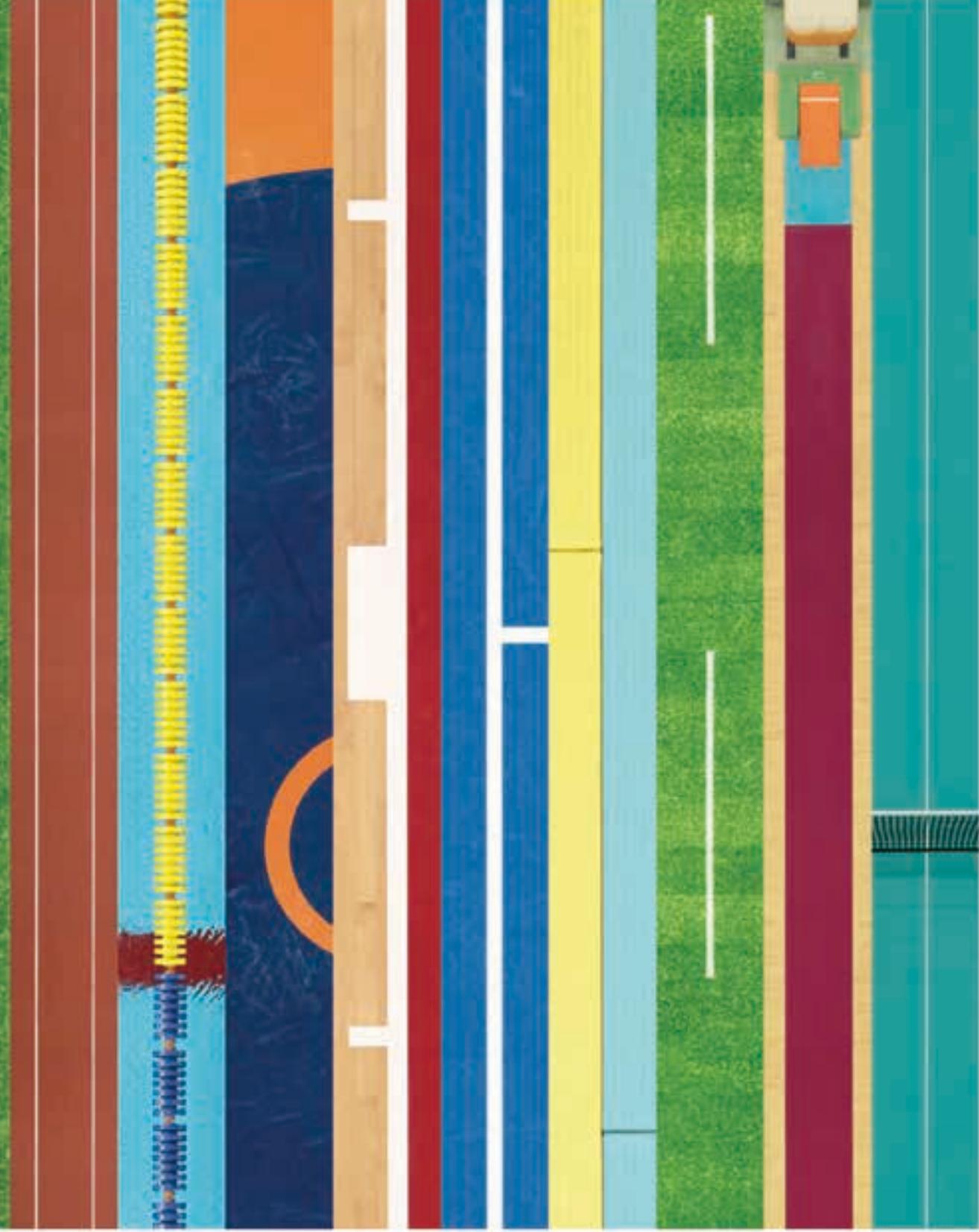
「今回のような風の中では経験の差が出る。ティーを低くして普段通りのスイングを心掛けた」と岩波選手。昨年、記念すべき第1回大会を狙っていた岩波選手。「意気込んで行つたけど4位タイに終わって悔しい思いをした。今回、浜野と聞いて楽しみにしていたので勝ててうれしい」と、昨年の雪辱を果たして笑顔でトロフィーを掲げた。



4位タイの三塙胤紀選手（左）と五十川康雄選手



順位	氏名	出場コース	1R	2R	Total
1	岩波 肇	シード・富士・山中湖	74	76	150
2T	岩永 直幸	スリーレイクス	80	74	154
2T	水野 進一	シード・ダンロップ	79	75	154
4T	五十川康雄	名古屋広幡	81	75	156
4T	三塙 裕紀	紫あやめ36	78	78	156
4T	佐藤 勝美	スリーレイクス	77	79	156
4T	北原 弘	富士グリーンヒル	75	81	156
8T	小川 竹男	亀山	78	80	158
8T	西山 靖彦	八千代	77	81	158



誰もが世界一になれるわけでもない。
誰もが日本代表になれるわけでもない。
それでも人はスポーツをする
昨日の自分に追い越されないために
明日の自分を追い越すために
スポーツに鍛えられた人生は
勝っても負けても、きっと負けない。
スポーツは、自分を超えるためにある。

スポーツくじ



スポーツくじ(toto・BIG)の収益は、日本のスポーツを育てるために使われています。



2018年度 全日本パブリックダブルススクランブルゴルフ選手権

友人、夫婦、親子、カップルで。気の合う仲間と Let's Scramble !!

PGSの公式競技として、2年前よりスタートした「パブリックダブルススクランブルゴルフ選手権」。今年はついに全日本大会へと規模が拡大され、スクラッチの部に加えてダブルペリアの部を新設。東日本、中部日本、西日本の各地でこれまで以上の熱い戦いが繰り広げられました。競技の緊張感と

合わせ、ダブルス戦の醍醐味とスクランブルゴルフの面白さを味わえるのは、この大会だけ。参加者も急増中のパブリックダブルススクランブルゴルフ選手権。さあ、今年は仲間と共に全日本チャンピオンを目指そう！

11月26日(月) スクラッチの部／ウッドフレンズ名古屋港ゴルフ倶楽部



「悪太郎」
塩田一太選手
&
毛利文太選手



▲2位「八ッ橋とちんすこう」
朝日優磨選手と仲村春之介選手



▲3位「神奈川大学体育会ゴルフ部」
小川龍清選手と斎藤瑞己選手

ダブルス
スクランブル
ゴルフとは？

2名がティショットを打ち、その中からセカンドショットを打つボールを1つだけ選択します。
選択した場所から2名がセカンドショットを打ち、その中からまたサードショットを打つボールを選択します。ホールアウトするまでこれを繰り返し、チームとしてのスコアを記録します。

11月27日(火) ダブルペリアの部／ウッドフレンズ名古屋港ゴルフ倶楽部



「Finger Moon」
築山尚史選手
&
指田学選手



▲2位「ブルーウォーター」
青木武人選手と水上敏美選手

▲3位「酔っ払い」
山本実選手と石村孝洋選手



2018年度
全日本アマチュアゴルファーズ選手権 地区決勝

競技結果

その先に待つステージへと駆け上がれ！

難関の地区予選を勝ち上がった者に与えられるファイナリストの称号。ここから最高峰の頂へと続していく戦いはさらに激戦だ。何度も跳ね返されようとも、挑戦し続けることの大切さを教えてくれる。年齢やカテゴリーを越え、喜び、悔しさを共にした者同士が分かち合える友情とライバル心。競技ゴルフの醍醐味がそこにある。今年も各地で始まる地区大会。その戦いの先に待つステージへと駆け上がれ！



アマチュアゴルファーズ選手権地区決勝	28
女子アマチュアゴルファーズ選手権地区決勝	30
ミッドアマチュアゴルファーズ選手権地区決勝	32
女子ミッドアマチュアゴルファーズ選手権地区決勝	34
シニアアマチュアゴルファーズ選手権地区決勝	35
女子シニアアマチュアゴルファーズ選手権地区決勝	37
ミッドシニアアマチュアゴルファーズ選手権地区決勝	38
グランドシニアアマチュアゴルファーズ選手権地区決勝	40

アマチュア選手権東日本B地区決勝

岡部雄斗選手が 4打差をつけて初優勝

アマチュアゴルファーズ選手権東日本B地区決勝は、最終ラウンドを単独トップからスタートした岡部雄斗選手(19歳)が、通算6アンダー、138ストロークで初優勝を果たした。

- 5月23日~24日
- 山梨県／丘の公園清里ゴルフコース
- 6,740ヤード、パー72 参加者160名



得意の高原コースで一度も首位を譲らず

2日間で奪ったバーディーは13個。岡部選手が一度も首位を譲ることなく突っ走った。アウトコースの早い組から出た初日、雨の中、13番から4連続を含む7バーディー・3ボギーの68で単独首位に立つ。2打差で服部滋多選手(29歳)、篠原株登選手(17歳)、芦澤悠選手(18歳)が2位タイについた。遠くアルプスを望む清々しい青空の

2日間で奪ったバーディーは13個。岡部選手が一度も首位を譲ることなく突っ走った。アウトコースの早い組から出た初日、雨の中、13番から4連続を含む7バーディー・3ボギーの68で単独首位に立つ。2打差で服部滋多選手(29歳)、篠原株登選手(17歳)、芦澤悠選手(18歳)が2位タイについた。遠くアルプスを望む清々しい青空の

下、最終ラウンドがスタート。「ここはバーディーが獲りやすいコース。優勝だけを考えている。昨日よりもいいコースでぶつちぎりたい」と、岡部選手。その意気込みどおり、出だしからバーディー、パー、バーディーと勢いに乗る。一方、2位グループの中、岡部選手はさらに2バーディーを奪うも3つのボギーを叩きスコアを落とし、前半を終えて岡部選手が7アンダーで独走態勢を築く。後半に入り風が強まる中、岡部選手はさらに2バーディーを奪落としたが、通算6アンダーで2位の藤沢諒選手(16歳)に4打差をつけ初優勝を飾った。

日本大学ゴルフ部の2年生。2日間で8つのパー5のうち、6ホールで2オン、7バーディーを叩き3ボギーを1つ、「コースは狭く、グリーンも難しいけれど勝てると思った」と、笑顔で語った。



順位	名前	出場コース	1R	2R	TOTAL
1	岡部 雄斗	新玉村	68	70	138
2	藤澤 謙	新玉村	72	70	142
3	服部 滋多	前橋	70	73	143
4T	篠原 株登	昭和の森	70	74	144
4T	芦澤 悠	シード・清里	70	74	144
6	山田 健悟	昭和の森	71	74	145
7T	町田 真二	新玉村	76	70	146
7T	林 篤志	清里	72	74	146
7T	小澤 玲央	清里	72	74	146
10T	吉村 幸樹	富士グリーンヒル	75	72	147

アマチュア選手権東日本A地区決勝

鈴木隆太選手が2位に 8打差をつける圧勝で初栄冠

アマチュアゴルファーズ選手権東日本A地区決勝は、最終ラウンドを2位タイでスタートした鈴木隆太選手(15歳)が、通算7アンダー、137ストロークで初優勝を決めた。

- 5月5日~6日
- 栃木県／那須野ヶ原カントリークラブ
- 6,779ヤード、パー72 参加者180名



初日トップに立つのは亥飼台選手(15歳)。インスタートの後半、1番から3連続バーディーを奪い、トータル1アンダーで抜け出す。以下、鈴木選手、昨年のA地区を制した園田昂生選手(20歳)他、1打差の2

後続を突き放す

「優勝は狙っていました。普通にやればアンダーを出せる自信がありました」と鈴木選手。最終ラウンドを7バーディー・ノーボギーの65で優勝へと突き進んだ。

「優勝は狙っていました。普通にやればアンダーを出せる自信がありました」と鈴木選手。最終ラウンドを7バーディー・ノーボギーの65で優勝へと突き進んだ。

初日トップに立つのは亥飼台選手(15歳)。インスタートの後半、1番から3連続バーディーを奪い、トータル1アンダーで抜け出す。以下、鈴木選手、昨年のA地区を制した園田昂生選手(20歳)他、1打差の2



順位	名前	出場コース	1R	2R	TOTAL
1	鈴木 隆太	シード・紫あやめ	36	72	137
2	園田 昂生	シード・JGM 宇都宮	72	73	145
3	稻波 勇茂	イーストウッド	74	72	146
4T	清水蔵之介	紫あやめ	36	75	147
4T	石毛 一輝	サンクチュアリ霞南	75	72	147
4T	前田 晃希	シード・古河	73	74	147
4T	菊地 一郎	那須野ヶ原	73	74	147
8T	鈴木 優大	那須野ヶ原	77	71	148
8T	細谷 幹	オールドオーチャード	75	73	148
8T	橋本 健	下館	72	76	148

アマチュア選手権中部日本地区決勝

上田敦士選手が初日からの
3打差を守り快勝！

アマチュアゴルファーズ選手権中部日本地区決勝は、最終ラウンドを単独トップでスタートした上田敦士選手(20歳)が、通算2アンダー、142ストロークで快勝した。

- 5月22日～23日
- 愛知県／ウッドフレンズ名古屋港ゴルフ俱楽部
- 6,647ヤード、パー72 参加者177名



コースへの恩返し。
熟知したコース攻め切る

して初めて中部学生選手権に優勝、中京大1年の青山選手は昨年の中部アマを制している。だが、白熱したプレーもそこまで。青山選手が5、6番でボギーにするなど、ハーフターンで3打差は変わらなかつた。終わつて見れば、2位には最終日を71で回つた鈴木千貴選手(17歳)が入つた。

上田選手の落ち着いたプレーには理由がある。「ここは家から近くて、夕方から手引カートでハーフを練習させてもらつてゐるんです。だから、この優勝は恩返しになつたかなと思ひます」と上田選手。攻略法も熟知していて「ここは(パー4を)取れる所をいかにしつかり取れるかがカギ」と言う。その通り、短いパー5の12番とパー4の14番は2日間ともバー・ディを決めた。167センチと小柄な国立大生だが、「できればゴルフで勝負したい」そうである。



順位	名前	出場コース	1R	2R	TOTAL
1	上田 敦士	シード・名古屋広幡	69	73	142
2	鈴木 千貴	名古屋広幡	74	71	145
3	青山 晃大	シード・名古屋港	72	74	146
4T	浅野 高浩	亀山	76	72	148
4T	牧 司	名古屋広幡	74	74	148
6T	マリ・アラハム	森林公園	79	72	151
6T	湯原 光	名古屋港	74	77	151
8T	野村 昇生	小杉	78	74	152
8T	田中 賢吾	CRC 白山ヴィレッジ	74	78	152
10T	門田健太郎	正眼寺	78	75	153

アマチュア選手権東日本C地区決勝

小林龍生選手がプレーオフを 制し初優勝

アマチュアゴルファーズ選手権東日本C地区決勝は、通算5オーバー、149ストロークで並んだ小林龍生選手(16歳)と吉田良彌選手(20歳)によるプレーオフの末、小林選手が初優勝を決めた。

- 5月9日～10日
- 千葉県／ディスター・ゴルフクラブ
- 6,744ヤード、パー72 参加者174名



波乱の展開の中で急浮上。大きなチャンスを掴む

優勝の行方は最終組の坂本将規選手（21歳）にかかっていた。遠く北海道からやってきた坂本選手、初日は横なぐりの強い雨の中で69を叩き出し、2位グループを大きく引き離して単独トップに立った。最終日は昼過ぎに電が降るほどの雷雲が接近し一時中断。難しいコンディションの中でもスコアを落としつつも、十分なアドバンテージを持って最終ホールにやつってきた。ところが、である。

左に飛び出した坂本選手の第1打はロストボール。ティに戻り、打ち直した球は右へOB。さらに打ち直した球は左のOBゾーンへ。大きくスクアを落とした坂本選手。代わってトップに浮上したのは1時間以上前にホールアウトした小林選手と最終組から3組前の吉田選手。2名による18番ホールでのプレーオフへと突入した。

「昨日はOBを4発打った」という小林選手。初日は83の28位タイが、この日は6バーディ・ノーボギーの66。「自分でも驚いた」という調子をそのままにプレーオフも吉田選手を圧倒。3打目、40ヤードのアプローチはピンに当たる楽々バーディで決着。小林選手が初優勝を手にした。

千葉学芸高校ゴルフ部の2年生。「昨年の全日本大会は下から数えて10番目。今年はこの調子で上から10番以内を目指したい」と笑顔を見せた。



順位	名前	出場コース	1R	2R	TOTAL
1	小林 龍生	ムーンレイク茂原	83	66	149
2	吉田 良彌	シード・日刊アマ	79	70	149
● ブレーオフの結果、小林選手が優勝 ●					
3T	坂田 一真	デイスター	81	70	151
3T	谷本伊知郎	デイスター	80	71	151
3T	森山 錬	千葉よみうり	77	74	151
6T	中島 央樹	千葉よみうり	80	72	152
6T	朝日向 翼	八千代	77	75	152
6T	江口 勇也	八千代	76	76	152
9T	河内 勝行	デイスター	81	72	153
9T	小林拳四郎	デイスター	81	72	153

女子アマチュア選手権東日本地区決勝

勝見梓選手が、切れ目のない集中力を見せて初優勝

女子アマチュアゴルファーズ選手権東日本地区決勝は、最終日を単独トップからスタートした勝見梓選手(16歳)が、通算2アンダー、142ストロークで初優勝を決めた。

- 5月9日~10日
- 茨城県／WINZER PARK GOLF AND COUNTRY CLUB
- 6,290ヤード、パー72 参加者64名



大会初日、降雨による影響でスタートが30分遅れる中、勝見選手は持ち前の集中力を發揮。前半のアウトを35で折り返すと、後半2バーディで38。トータル73で単独トップに立った。1打差の2位には小林亜美選手(21歳)、植竹愛海選手(17歳)が続く。最終日も雨の中、前半で1つ落とした勝見選手は一時逆転を許すも、後半に入つてから集中力と強さを發揮。11、12番の連続バーディの後、

緊張感とプレッシャーに打ち勝ち、勝利を決める

関東学院大学付属高等学校2年生の16歳。小学3年生でゴルフを始め、5年生の終わり頃から競技に参加し始めたとい。ゴルフだけでなく、音楽やお友達とおしゃべりするのが大好きな今どきの女子高生。次の目標は「やはり全日本大会で頑張ります」と笑顔で語った。

「昨夜からずっと眠れぬまま朝を迎えた。今日は一日中緊張したままプレーしてしまった。このような結果を残せたことがとても嬉しいです」と、勝見選手。雨に見舞われた2日間を振り返り、「そんなに土砂降りではなかつたのですが、芝生が濡れて重かったですのでラフに入れると大変でした。何よりも、昨日も今日も調子がずつと不安定だったのに、ヒヤヒヤしながらプレーしていました」と2日間を振り返る。



順位	名前	出場コース	1R	2R	TOTAL
1	勝見 梓	三井の森軽井沢	73	69	142
2T	古家 翔香	紫あやめ 36	76	70	146
2T	稻垣那奈子	WINZER PARK	75	71	146
4T	植竹 愛海	紫あやめ 36	74	73	147
4T	小林 亜美	富士・山中湖	74	73	147
6	中澤 瑞来	朝霞	76	72	148
7	西村 涼花	MOUNTAIN LAKE MAEHARA	78	72	150
8	関根 理央	紫あやめ 36	76	75	151
9T	川畑 優菜	WINZER PARK	78	74	152
9T	上田 露空	昭和の森	77	75	152

アマチュア選手権西日本地区決勝

ただ一人、アンダーパーをマークした大嶋宝選手が優勝を果たす

アマチュアゴルファーズ選手権西日本地区決勝は、最終ラウンドをトップタイからスタートした大嶋宝選手(15歳)が2日間通算5アンダー、139ストロークで初優勝を飾った。

- 5月23日~24日
- 兵庫県／武庫ノ台ゴルフコース
- 6,808ヤード、パー72 参加者161名



雨が降りしきる悪コンディションとなつた初日に、2アンダーをマークして首位タイに立つた大嶋選手が、一転快晴となつた最終日も5バーディ、2ボギーの3アンダーを叩き出し、出場選手でただひとりアンダーパーの13ストロークで大会初優勝を飾った。淡淡とプレーする大嶋選手に「プレッシャーはなかつた。最終日、前半をパ

後半のバーディラッシュで振り切る

アマチュア界では名の知れた大嶋4兄弟の三男。父・研一さんが運転するワンボックスカーで、全国各地で開催される試合を転戦し試合経験を積んできた。長男・炎さんは現在、大阪学院大ゴルフ部で腕を磨き、朝日杯争奪日本学生でも優勝。兄弟で切磋琢磨しながら、それぞれ高みを目指している。



順位	名前	出場コース	1R	2R	TOTAL
1	大嶋 宝	水島	70	69	139
2T	細野 勇策	宇部 72江畠池	75	69	144
2T	丹羽 海太	京阪	74	70	144
2T	田 修成	滋賀甲南	70	74	144
5T	横山 翔伍	トム・ワトソン	77	70	147
5T	松村 孝哉	高松	75	72	147
5T	坂本 優心	瀬戸の森北九州	73	74	147
8T	児玉章太郎	瀬戸の森北九州	77	71	148
8T	毛利浩一郎	ダンロップ	77	71	148
8T	大嶋 港	水島	74	74	148
8T	枝川 吏輝	トム・ワトソン	74	74	148

女子アマチュア選手権西日本地区決勝

都玲華選手が 混戦を抜け出し、初優勝！

女子アマチュアゴルファーズ選手権西日本地区決勝は、最終ラウンドをトップタイからスタートした都玲華選手（14歳）が、通算3アンダー、141ストロークで初優勝を果たした。

- 5月9日～10日
- 岡山県／奥津ゴルフ倶楽部
- 6,193ヤード、パー72 参加者108名



**終盤の連続バーで
三つ巴の接戦を制す**

初日、パープレーの72で並んだのは山脇愛璃選手（13歳）、梶谷翼選手（14歳）、そして都選手の中学生3人。高校生、大学生を抑えて堂々リーダーズボーリーのトップに名前を連ねた。以下、5打差以内に29名がひしめく大混戦。お天気に恵まれた最終日、幸先よくバーで飛び出たのは都選手。以降、パーを積み重ね35でターン。梶谷選手は2バーディ・2ボギー、山脇選手

が1バーディ・1ボギーと、共にパーで追随する展開。後半に入り、都選手が10番パー5でバーを奪い一歩抜け出す。一方山脇選手、梶谷選手の2人は後半に入るやバーでピタッと止まり、パーを積み重ねていく。都選手は出入りが激しく、10番の後、11番ボギー、さらに13番バーでひしめき合う3人の勝負を争う。1打差でひしめき合う3人の勝負は終盤で動いた。都選手が15、16番で2人を突き放す連続バーで勝取。選手が梶谷選手に2打差をつけ、初優勝を飾った。

尚3位タイにはこの日69で回った岡田樹花選手（15歳）他、鈴木陽彩選手（16歳）、水木春花選手（16歳）が入賞した。



順位	名前	出場コース	1R	2R	TOTAL
1	都 玲華	高松	72	69	141
2	梶谷 翼	花園廊	72	71	143
3T	岡田 樹花	ダンロップ	78	69	147
3T	鈴木 陽彩	京阪	76	71	147
3T	水木 春花	シード・トム・ワトソン	75	72	147
6T	山本 唯加	高松	74	74	148
6T	中田 寧々	高松	74	74	148
6T	西岡利佳子	アオノ	74	74	148
9T	仲村 果乃	ダンロップ	73	76	149
9T	山脇 愛璃	ダンロップ	72	77	149

女子アマチュア選手権中部日本地区決勝

杉浦愛梨選手が1打差を守り、逆転初優勝

女子アマチュアゴルファーズ選手権中部日本地区決勝は、最終ラウンドを単独2位からスタートした杉浦愛梨選手（14歳）が、通算10オーバー、154ストロークで初優勝を決めた。

- 5月9日～10日
- 愛知県／ウッドフレンズ名古屋港ゴルフ倶楽部
- 6,279ヤード、パー72 参加者57名



強風で上位陣が崩れる中、粘りのプレーで耐え凌ぐ

港湾の埋め立て地にあるウッドフレンズ名古屋港ゴルフ倶楽部はよく強風が吹くのも珍しい。そんな中、初日は高木美佑選手（17歳）が73で首位に立ち、杉浦選手と芦沢衣里選手（21歳）に2打差をつけた。最終日は初日よりも風が強く、時折10メートルほどの強風が吹いた。耐えられなかつたのが首位の高木選

手（21歳）に2打差をつけた。しかし、勝負は後半に入つた。6ホールを1パットで凌ぐという粘りで、勝負は後半に入つた。風は後半になって強さを増し、難度を高める。パーを取るのさえ難しい状況。杉浦選手も10番から4連続ボギー。後半42を打つた。しかし、それが以上に上位陣が崩れ、結局、通算10オーバーで杉浦選手に優勝が舞い込んだ。

そういった状況だから、優勝が決まります。また瞬間も、杉浦選手は信じられないような表情を見せた。2015年に中部小学生選手権に勝ち、中学1年では愛知県ジュニアに優勝していったが、その後は調子を落としていました。それが、「この優勝は本当にうれしい」と笑顔を見せる杉浦選手。「頑張って日本ジュニアで3位以内に入りたい」と元気な言葉で締めた。



順位	名前	出場コース	1R	2R	TOTAL
1	杉浦 愛梨	名古屋港	75	79	154
2T	國分 彩那	名古屋港	80	75	155
2T	幸田 彩里	名古屋港	77	78	155
2T	高木 美佑	名古屋港	73	82	155
5	芦沢 衣里	名古屋港	75	81	156
6T	高木 美咲	名古屋港	80	77	157
6T	古川莉月愛	名古屋港	76	81	157
8	神谷 もも	名古屋港	79	80	159
9	今野 真希	名古屋港	80	80	160
10T	長谷川茉衣	名古屋港	78	83	161

ミッドアマ選手権東日本B地区決勝

塙田一史選手が昨年の
雪辱を果たし、ミッドアマ初優勝

ミッドアマチュアゴルファーズ選手権東日本B地区決勝は、最終ラウンドをトップタイからスタートした塩田一史選手(51歳)が、通算3オーバー、147ストロークで初優勝を決めた。

- 7月25日～26日
- 栃木県／JGM宇都宮ゴルフクラブ
- 6,678ヤード、パー72 参加者176名



勝負所を逃さず攻め流れを引き寄せる

初日トップに立ったのは、勝田兵吉選手（47歳）。インスタート出だしから連続バーインのロケットスターを決め、パープレーの72で単独首位に躍り出た。1打差の2位に加藤洋選手（43歳）、さらに1打差の3位タイに塙田選手と竹内貴弘選手（47歳）が続く。

ダブルボギースタート。続く2番もボギーを叩き、早々に脱落。前半で40を叩く。加藤選手39、塩田選手37竹内選手36で前半を折り返す。後半の12番パ-15、塩田選手が勝負に出る。セカンドショットをクリークで果敢に攻め、グリーン手前ラフからのアプローチをワンピン強オーバーしたものの、「1ヤードスライス」したという返しのバー-ディパートをねじ込み、流れを引き寄せた。

続く13番パ-14もバー-ディを奪うと、この時点で通算2オーバーでリード。竹内選手は12番で痛恨のダブルボギーを叩き、加藤選手も今日はバー-ディが来ない。塩田選手は17番でボギーを打つも逃げ切り、昨年プレーオフで敗れた雪辱を果たすミッドアマ初優勝を果たした。

「昨年は最終盤で気負いがありましたが。今年は、対人ではなく、対コースなんだ」と言い聞かせ、自分のプレーに徹しました」と笑顔で振り返った。



順位	名前	出場コース	1R	2R	TOTAL
1	塙田 一史	シード・サンクチュアリ久慈	74	73	147
2	弦巻 淳一	古河	75	73	148
3	勝田 兵吉	JGM 宇都宮	72	77	149
4	池田 武志	JGM 宇都宮	76	74	150
5T	田村 直樹	ハーモニーヒルズ	78	73	151
5T	竹内 貴広	古河	74	77	151
5T	加藤 洋	新玉村	73	78	151
8	山本 靖	朝霞	77	75	152
9T	藤本 和大	イーストウッド	79	74	153
9T	鈴木泰二郎	シード・オールドオーチャード	79	74	153

ミッドアマ選手権東日本A地区決勝

藤城経真選手が3連続 バーディの快進撃で初優勝

ミッドアマチュアゴルファーズ選手権東日本A地区決勝は、台風12号接近の影響により18ホール・ストロークプレーに短縮され、藤城経真選手(36歳)が、3アンダー、69ストロークで初優勝を飾った。

- 7月29日
- 千葉県／千葉よみうりカントリークラブ
- 6,504ヤード、パー72 参加者165名



巧みにコースを攻略

がけが功を奏したか、5番パー4ではセカンドが直接入るイーグル奪取。さらには終盤の7、8、9番で3連続バーディを奪い、通算3アンダーの69でホールアウト。その後、鶴岡留勝選手(67歳)が70で1打迫ったが、さらに上回るスコアは出ず、藤城選手の初優勝が決まった。

「風も少しあり、カップも難しい場所に切られていたと思いますが、後半の31というスコアは自分でも驚きました。5番のイーグルと3連続バーディを取りたのは本当に嬉しかった」と、あらためてプレーを振り返る藤城選手。

学生時代から親しんだゴルフは社会人となつて一旦は離れたが、仕事にも慣れてきたことで競技も再開。「社会に出て目線も変わり、ゴルフが楽しくなつた。今は仕事との両立が楽しい」と、笑顔で語る。「全日本大会は気持ちを整えて挑みたい」と、口元を引き締めた。



順位	名前	出場コース	OUT	IN	TOTAL
1	藤城 経真	千葉よみうり	31	38	69
2	鶴岡 留勝	市原	35	35	70
3	渡部 美和	新君津	37	35	72
4T	小野寺智夫	千葉よみうり	37	36	73
4T	石原 光浩	八千代	35	38	73
6T	猿山 隆二	市原	38	36	74
6T	野崎 宏宇	千葉よみうり	37	37	74
6T	土田 恭章	昭和の森	37	37	74
6T	加藤 光一	シード・昭和の森	36	38	74
6T	山本 竜佑	昭和の森	36	38	74

ミッドアマ選手権西日本地区決勝

福本徹選手が、一昨年に続き ミッドアマ2勝目を果たす

ミッドアマチュアゴルファーズ選手権西日本地区決勝は、最終ラウンドをトップタイからスタートした福本徹選手（47歳）が2日間通算3アンダー、141ストロークで優勝を果たした。

- 7月24日～25日
- 兵庫県／グランドオークプレイヤーズコース
- 7,009ヤード、パー72 参加者169名



灼熱の中の一戦を冷静なプレーで勝利を引き寄せる

灼熱の中の一戦を冷静なプレーで勝利を引き寄せる

習は忙しい業務の合間。無理を聞いてもらつた総支配人にまず感謝の気持ちを伝えたかったという。勝手知つたるコースとはいえ、百戦錬磨の選手が集う試合。最終日、トップタイからスタートした福本選手だつたが、1打差2位の井上智一選手(49歳)に先に5番でバーディーを奪われ、並ばれる。ともに1アンダーで折り返すと、気温が38度まで上昇したバックナイン、井上選手は10、11、12番でよもやの連続ボギー。13、14番で連続バーディーとしもの、福本選手も13番で50センチにピタリと寄せたバーディイパットを沈めると、15番でも1メートルのバーディイパットをねじ込んで勝負を決めた。

「2年前の優勝は自分でもびっくりだつたのですが、今年はコーススタッフの方の応援もあり勝ちたかった」と、ほつとした表情を浮かべた福本選手。感謝の気持ちがこもつた勝利となつた。



順位	名前	出場コース	1R	2R	TOTAL
1	福本 徹	北神戸	71	70	141
2	井上 智一	高松	72	72	144
3	世良田紘平	アオノ	76	69	145
4T	森野 勝義	岡山空港	74	72	146
4T	中井 克佳	高松	71	75	146
6	小峰 尚宏	高松	71	77	148
7T	白髭 慎一	北神戸	79	70	149
7T	北谷 孝幸	西神戸	76	73	149
7T	黒川 博之	高松	76	73	149
7T	丸石 勝也	よみうりエスト	72	77	149

ミッドアマ選手権中部日本地区決勝

河合聰一郎選手が 混戦を制して初優勝

ミッドアマチュアゴルファーズ選手権中部日本地区決勝は、最終ラウンドを2位タイからスタートした河合聰一郎選手(47歳)が通算1オーバーの145ストロークで初優勝を決めた。

- 7月25日～26日
- 三重県／亀山ゴルフクラブ
- 6,654ヤード、パー72 参加者161名



10番のバー・ディ 勝負の決め手となつた

打ちとなつた。
ここから2人のトップ争いは一転二転。山村選手がボギーを打つた10番で、河合選手がグリーン左のラフから約16メートルをパターで入れて逆転するが、14番では河合選手がO Bを打つて山村選手がまたもやトップに立つ。一進一退の攻防を繰り返す中、16番パ15で河合選手が2オンからのバーディを奪い、17、18番をボギーとした山村選手を突き放した。
「10番のアプローチにパターを使ったのはラフでも順目だつたから。普段は苦手なパターだけど、終盤にはきついパー帕ットが入るなど助けられました」と河合選手。前週は中部地区の別競技で優勝し「トップ杯東海クラシック」の出場も決めており、「益と正月がいっぺんに来たみたい。ゴルデンウイークに長野県のパワースポット、分坑峠に行つてから運気が上がつたような気がする」と嬉しそうに話した。



順位	名前	出場コース	1R	2R	TOTAL
1	河合聰一郎	名古屋広幡	71	74	145
2T	田島 浩史	名古屋広幡	75	72	147
2T	山村 憲人	名古屋港	73	74	147
4T	閔 淳悟	亀山	74	75	149
4T	笠原 義也	シード・名古屋広幡	72	77	149
6T	原田 英明	森林公園	76	74	150
6T	阪野 智久	名古屋港	72	78	150
8	廣瀬 淳一	森林公園	74	77	151
9T	橋詰 健二	正眼寺	75	77	152
9T	森田 康彦	正眼寺	70	82	152

女子ミッドアマ選手権中部日本地区決勝

吉川美香選手が8打差をつけ、5度目の優勝

女子ミッドアマチュアゴルファーズ選手権中部日本地区決勝は、最終ラウンドを2位タイからスタートした吉川美香選手(49歳)が、通算20オーバー、164ストロークで5度目の優勝を飾った。

- 5月9日~10日
- 愛知県／ウッドフレンズ名古屋港ゴルフ倶楽部
- 6,018ヤード、パー72 参加者40名



強風の中を冴えるゴルフで一人旅。最多勝利を挙げる

初日、強風にやられ、首位に1打差の85を打つて悔しがっていた吉川選手。だが、その負けん気は最終日にぶつけられた。前日より強風が吹いた前半を40でターンすると、後半はもう一人旅。オーバーパーの内容は1ダブルボギー、2ボギーだったが、他の6ホールはすべてパーと技が冴えた。他の9番パ-14でボギーを打つたが、

吉川選手は無理な理由もある。「もう、ミッドアマチュアは無理だからシニアに照準を合わせて身体を鍛えているのよ」と、内心はメラメラと燃えて

「最後の9番は大フォローだったし、グリーンオーバーさせて寄せようと思つたんだけど、池が目に入つて失敗(ボギー)しちゃつた。でもね、この風だから100点のプレーよ」と自画自賛した。



順位	名前	出場コース	1R	2R	TOTAL
1	吉川 美香	名古屋港	85	79	164
2T	松本 美保	名古屋港	88	84	172
2T	高橋世利子	名古屋港	84	88	172
4	金澤美由紀	名古屋港	89	85	174
5	前田 英里	名古屋港	86	90	176
6	嘉田 チカ	名古屋港	89	89	178
7T	岩崎 未果	名古屋港	92	88	180
7T	齋藤奈津子	名古屋港	91	89	180
7T	稻生 晴美	名古屋港	90	90	180
7T	新海 由美	名古屋港	85	95	180

女子ミッドアマ選手権東日本地区決勝

林純花選手が7打差の独走で優勝を果たす

女子ミッドアマチュアゴルファーズ選手権東日本地区決勝は、最終ラウンドを単独トップからスタートした林純花選手(53歳)が、通算4オーバー、148ストロークで優勝を果たした。

- 5月9日~10日
- 茨城県／ワインザーパークゴルフアンドカントリークラブ
- 6,112ヤード、パー72 参加者80名



藤彩香選手(34歳)に5打差をつけ単独トップに立つた。3位は81の田嶋優子選手(47歳)、4位タイに皆川三代子選手(54歳)、夏山ルイ選手(37歳)が82で続く。雨の最終日、林選手が5打差のリードをどこまで保てるか、注目が集まつた。前半を終わって佐藤選手がパー1に対し、林選手は37で1つ落

パートナーはスコアを決める重要なキーワード

初日、雨の中3バーディ・5ボギーの74で上がった林選手が、2位の佐藤選手(34歳)に5打差をつけ単独トップに立つた。3位は81の田嶋優子選手(47歳)、4位タイに皆川三代子選手(54歳)、夏山ルイ選手(37歳)が82で続く。雨の最終日、林選手が5打差のリードをどこまで保てるか、注目が集まつた。前半を終わって佐藤選手がパー1に対し、林選手は37で1つ落

初日、雨の中3バーディ・5ボギーの74で上がった林選手が、2位の佐藤選手(34歳)に5打差をつけ単独トップに立つた。3位は81の田嶋優子選手(47歳)、4位タイに皆川三代子選手(54歳)、夏山ルイ選手(37歳)が82で続く。雨の最終日、林選手が5打差のリードをどこまで保てるか、注目が集まつた。前半を終わって佐藤選手がパー1に対し、林選手は37で1つ落

日頃から悔いのないパッティングを心掛けているという林選手。「今回は雨でグリーンが重くなるので逆に有利かな」と考えた。パートナーはスコアを決める重要なキーワード」と振り返る。うれしい優勝に加え、偶然的にも20年来的友人と再会を果たしたことを報告。

「ゴルフは生涯の良い友人を見つけることができる素晴らしいスポーツ」と挨拶し、拍手喝采を浴びた。



順位	名前	出場コース	1R	2R	TOTAL
1	林 純花	サンクチュアリ霞南	74	74	148
2	佐藤 彩香	ワインザーパーク	79	76	155
3	夏山 ルイ	ワインザーパーク	82	76	158
4	寺内 梢	シード・ハーモニーヒルズ	86	74	160
5	田嶋 優子	古河	81	81	162
6T	小林 信英	古河	84	82	166
6T	皆川三代子	ワインザーパーク	82	84	166
8T	荻原由美子	ハーモニーヒルズ	89	81	170
8T	青木ももこ	鹿島南蓼科	87	83	170
10	栗原 美紀	昭和の森	83	90	173

シニア選手権東日本地区決勝

關橋光一選手が1打差を守り 初優勝を飾る

シニアアマチュアゴルファーズ選手権東日本地区決勝は、最終ラウンドをトップタイでスタートした關橋光一選手(63歳)が、通算5オーバー、149ストロークで初優勝を決めた。

- 5月17日~18日
- 千葉県／八千代ゴルフクラブ
- 6,138ヤード、パー72 参加者138名



土壇場のリカバリーショットで僅差を守る

勝負も大詰めの17番パー4。初日、首位を分け合つた關橋選手と玉置実選手(58歳)との差は1打。ここまで關橋選手が僅差のリードを保つてきたが、土壇場にきてピンチを迎えた。ティショットの球は樹木の後方に出て、選択肢はないかに思われたが、左回転の弧を大きく描いた球はピンを目がけて飛んで行き、グリ

ン奥で止まつた。「グリーンまで170ヤード。ピンまで10ヤード。ユーティリティの22度をかぶせて打った」というストレートショット。続く奥からのアプローチは逆目。「オーバーしても返しは上りで打てる」と強めに打ち、2メートル半の返しを沈める見事なパーで打つた。3年連続最終組だったけど、八千代は昨日が初めてだったから「今年こそ優勝!」なんて気持ちは一切なかつた(笑)』と笑い飛ばす。17番のプレーを振り返り、「林の中や木の後ろからのショットは得意なんです。運がよいかつたんですね」と、してやつたり



順位	名前	出場コース	1R	2R	TOTAL
1	關橋 光一	シード・富士・山中湖	74	75	149
2T	松本 正之	富士グリーンヒル	79	71	150
2T	玉置 実	東我孫子	74	76	150
4T	東 幸司	昭和の森	80	71	151
4T	羽鳥 賢次	シード・昭和の森	77	74	151
6T	小林 正志	妻沼	82	72	154
6T	内田 裕	八千代	81	73	154
8T	岩井 正一	八千代	79	76	155
8T	森尻 昭彦	妻沼	77	78	155
10T	石田哲次郎	八千代	77	79	156

女子ミッドアマ選手権西日本地区決勝

足立由紀子選手が 4打差をつけ初優勝を果たす

女子ミッドアマチュアゴルファーズ選手権西日本地区決勝は、最終ラウンドを単独トップでスタートした足立由紀子選手(48歳)が、通算11オーバー、155ストロークで初優勝を果たした。

- 5月9日~10日
- 岡山県／奥津ゴルフ俱楽部
- 6,193ヤード、パー72 参加者55名



後半で立て直す

初日1オーバーの73で単独トップに立つたのは足立選手。特筆すべきはインコースに入つてからの快進撃で、13、16、18番でパーで奪取。14番をボギーとしたが、34とスコアを2つ縮め、2位の川井悠圭選手(24歳)に5打差をつけた。3位以下は川井選手から6ストロークと大きく離れており、事実上、足立選手と川井選手による一騎打ちの様相を呈

した。足立選手がそのまま逃げきるか、川井選手が差をどこまで詰められるか、注目の最終ラウンド。両者ボギー

スタートとなつた前半、足立選手が続く2番でダブルボギー。さらに5番ボギーの後、6番でもダブルボギーとスコアを落としてしまう。5打あつた貯金を一気に吐き出し、2番ホール以降順調にパーを積み重ねた川井選手に6番で逆転を許し、前半をまさかの45でホールアウト。川井選手は8、9番をボギーとして39。1打リードで後半に折り返した。足立選手が差を詰め直した。足立選手は順調にパーを積み重ねると13番でパーで打つ。そして、一転、川井選手が11番から17番をボギーとするが、後半を37でまとめてトータル82でホールアウト。16、18番をボギーとした川井選手は4打差をつけ初優勝を果たした。



順位	名前	出場コース	1R	2R	TOTAL
1	足立由紀子	シード・京阪	73	82	155
2	川井 悠圭	奥津	78	81	159
3	鷹野 美紀	シード・滋賀甲南	84	84	168
4	田尻 智佳	京阪	85	87	172
5	西田 香	大阪	84	89	173
6T	石橋 三和	北神戸	87	87	174
6T	服部 清香	ベアズパウジャパン	86	88	174
8	西村 妹	シード・ダンロップ	89	86	175
9	濱中 幸	大阪	87	89	176
10T	中野有佳梨	ダンロップ	93	84	177

シニア選手権西日本地区決勝

喜多晴彦選手が、初日26位 タイから驚異の大逆転

シニアアマチュアゴルフアーズ選手権西日本地区決勝は、最終ラウンドを26位タイからスタートした喜多晴彦選手(55歳)が最終ラウンドで5バーディ、1ボギーの4アンダーを叩き出し、逆転優勝を飾った。

■ 5月15日～16日
■ 兵庫県／北神戸ゴルフ場
■ 6,383ヤード パー72 参加者138名



パツトが優勝を引き寄せる
喜多選手は、最終組から7位タイ。まさに鮮やかな逆転劇だった。

「初日のラウンドで自分自身、不甲斐ないプレーが何度もあつた。最終ラウンドは初日の教訓を活かしてなるべくミスのないラウンドをしようと。それがこの“68”というミラクルだ」と。喜多選手の表情が驚きに変わった。初日のスコアは79、26位タイ。最終ラウンドは、最終組から7位タイ。まさに鮮やかな逆転劇だった。

早々と帰り支度を済ませ、リラックスしながら表彰式を待つ喜多選手に吉報が伝えられた。「まさか……」。喜多選手の表情が驚きに変わった。初日のスコアは79、26位タイ。最終ラウンドは、最終組から7位タイ。まさに鮮やかな逆転劇だった。

「初日のラウンドで自分自身、不甲斐ないプレーが何度もあつた。最終ラウンドは初日の教訓を活かしてなるべくミスのないラウンドをしようと。それがこの“68”というミラクルだ」と。喜多選手の表情が驚きに変わった。初日のスコアは79、26位タイ。最終ラウンドは、最終組から7位タイ。まさに鮮やかな逆転劇だった。

そのミラクルは3番パー5から始まつた。三段グリーン最上段からの25メートルものパー5を、アーチで回された」とプレーを振り返った。「ゴルフ人生で最も良い日です」と言うと、念願の初タイトルに瞳を潤ませた。



順位	名前	出場コース	1R	2R	TOTAL
1	喜多 晴彦	グランドオーク	79	68	147
2	丸山 武志	アオノ	74	74	148
3T	吉川 宏	米子	76	74	150
3T	近澤 修	西神戸	72	78	150
5T	志村 和彦	シード・武庫ノ台	77	74	151
5T	阿部 義弘	コート・ベル徳島	76	75	151
7	高安 覚	守礼	77	76	153
8T	野口 敏一	大阪	78	76	154
8T	藤本 道徳	シード・よみうりウエスト	71	83	154
10T	中村 光浩	アオノ	80	75	155

シニア選手権中部日本地区決勝

織田恒郎選手がライバルの追撃を振り切り、初優勝

シニアアマチュアゴルフアーズ選手権中部日本地区決勝は、最終ラウンドをトップからスタートした織田恒郎選手(54歳)が、通算4オーバー、148ストロークで初優勝を決めた。

■ 4月26日～27日
■ 愛知県／名古屋広幡ゴルフコース
■ 6,499ヤード パー72 参加者125名



スコアを活かして逃げ切る
初日、1アンダーをマークして2位に4打差をつける好発進をしたのがシニアルーキーの織田選手。優勝経験のない織田選手だけに最終日はどんなプレーを見せるか注目された。4打差とはいえ、逃げ切るのは簡単ではない。案の定、一緒に回ついた土岐明彦選手(55歳)の怒濤の逆襲に遭う。前半38と織田選手自身も頑張っていたが、土岐選手が2アンダーマークして、スタート時

14番ではとうとう織田選手にOBが出て並ぶ。続く15番パー4は「もう必死でパーを拾った」という織田選手。しかし、状況は苦しい。久しぶりのパブリックの試合に出場とはいえ、相手は中部で「ミスター・パブリック」の異名を持つ土岐選手だ。だが、次の16番のパー5の2打目、追う土岐選手が痛恨のOBを2打発も放つてしまうのだ。「安全なユーティリティで簡単に打つたら、2度とも引っかけてしまった」と土岐選手。終わってみれば、初日と変わらず織田選手が4打差で逃げ切つていた。

「すべては初日の71のおかげ。ショットは悪かったのに、パターとアプローチがよくて、アンダーパーで回された」とプレーを振り返った。「ゴルフ人生で最も良い日です」と言うと、念願の初タイトルに瞳を潤ませた。



順位	名前	出場コース	1R	2R	TOTAL
1	織田 恒郎	名古屋港	71	77	148
2	土岐 明彦	森林公園	76	76	152
3	児島 達之	森林公園	82	73	155
4T	古賀 黙	名古屋広幡	80	76	156
4T	マハリ・アブラム	名古屋港	79	77	156
4T	小島 朋広	名古屋港	77	79	156
7	近岡 次男	シード・正眼寺	82	75	157
8T	奥村 政之	正眼寺	83	75	158
8T	高野 幹雄	小杉	82	76	158
8T	古岡 弘吉	アリジ	81	77	158

女子シニア選手権中部日本地区決勝

最年長の北原治美選手が、 2打差をつけ見事な逆転優勝！

女子シニアアマチュアゴルファーズ選手権中部日本地区決勝は、最終ラウンドを単独2位からスタートした北原治美選手(71歳)が、2日間通算11オーバー、155ストロークで逆転優勝を果たした。

- 9月25日～26日
- 三重県／アリジカントリークラブ 花垣コース
- 5571ヤード パー72 参加者38名



雨を味方につけ、
冷静なプレーで逃げ切る

初日、自己ベストの75ストロークで首位に立ったのは三浦清美選手(61歳)。1打差の2位についたのが北原選手で、3位の田島和美選手(55歳)とは3打差。70歳を越えても、なお中部女子ゴルフ界のトップアマである北原選手が最終日、首位を捕らえるのは早かつた。1番パー5、パーで上位にボギーを叩き、北原選手が逆転。

——や、厳しかったのではないかとか、北原選手。若い頃、水泳で鍛えた強い身体はいまなお健在だ。

共に前半を41でまとめた北原選手と田島選手の差は、ハーフターン時三浦選手は47を叩いて優勝争いから後退した。雨脚の強くなつた後半、田島選手は37ストロークで追い上げを見せるも、北原選手も38で耐え、最終的に2打差で逃げ切つた。



順位	名前	出場コース	1R	2R	TOTAL
1	北原 治美	名古屋港	76	79	155
2	田島 和美	シード・名古屋港	79	78	157
3	菊川由美子	シード・アリジ	80	82	162
4	内田 宏枝	シード・名古屋広幡	80	83	163
5	三浦 清美	名古屋広幡	75	89	164
6T	北川 京子	アリジ	82	83	165
6T	平田 優子	シード・森林公園	80	85	165
8	篠田富美子	名古屋港	84	82	166
9T	上中 啓子	アリジ	84	83	167
9T	鈴木 裕美	名古屋広幡	84	83	167

女子シニア選手権東日本地区決勝

畠中朝子選手が、 粘り強さを魅せて初優勝！

女子シニアアマチュアゴルファーズ選手権東日本地区決勝は、最終ラウンドをトップタイでスタートした畠中朝子選手(54歳)が、通算14オーバー、158ストロークで初優勝を果たした。

- 9月26日～27日
- 長野県／鹿島南蓼科ゴルフコース
- 5,589ヤード パー72 参加者48名



「グリーンの仕上がりがとても良く、難しいなと思っていました。2日間共にお天気が良くありませんでしたが、ともかく我慢と思い慎重にプレーしました」
冷え込みもあつた生憎の天候となつた2日間、ローカルルールの変更が検討されるなど難しいコンディションの中、畠中選手はバーディこそないものの安定したスコアを積み重

なつた2日間、ローカルルールの変更が検討されるなど難しいコンディションの中、畠中選手はバーディこそないものの安定したスコアを積み重

な所を狙つて打つたのが結果的に良かった」と、振り返る。競技に参加するようになつたのは、3位の君塚桂子選手(57歳)と一緒に参加したことがあります。競技に参加するたび、お友達が増え『一年ぶりですね』って、会場で声を掛け合い再会するのを楽しみにしていました」と、こぼれるような笑顔で語った。



順位	名前	出場コース	1R	2R	TOTAL
1	畠中 朝子	八千代	78	80	158
2	本田かつら	ハーモニーヒルズ	82	81	163
3	君塚 桂子	市原	82	84	166
4T	今井 啓子	八千代	83	84	167
4T	仁科 理恵	昭和の森	78	89	167
6T	猪野 智子	シード・朝霞	85	83	168
6T	石原 浩美	サンクチュアリ霞南	80	88	168
8	藤 伊津子	紫あやめ 36	83	87	170
9	米 美知子	紫あやめ 36	88	83	171
10T	大村 恵子	昭和の森	87	86	173

ミッドシニア選手権東日本地区決勝

那波芳比古選手がミッドシニアデビュー戦で初優勝

ミッドシニアアマチュアゴルファーズ選手権東日本地区決勝は、単独トップからスタートした那波芳比古選手(65歳)が、通算2オーバー、146ストロークで初優勝を飾った。

- 9月26日~27日
- 長野県／鹿島南蓼科ゴルフコース
- 6,157ヤード、パー72 参加者123名



「ぶつつけ本番も、好調なゴルフで3打差を守りきる」
「昨日9月26日で65歳になり、今年がミッドシニアデビュー戦。初優勝は嬉しいです！」と、笑顔が弾ける那波選手。ぶつつけ本番となつた初日は「コースはわからないし、霧で見えなかつたので一打目は不安だつた」としながらも、2バーディ・2ボギーの72でまとめて単独首位に立つと、最終日も僅差で続くライバルを尻目に好調を維持。3つのバーディ

を奪い、74でホールアウト。2位の岩井正一選手(67歳)に3打差をつける見事なプレーで初優勝を飾った。那波選手。「ぶつつけ本番となつた初日は「コースはわからないし、霧で見えなかつたので一打目は不安だつた」としながらも、2バーディ・2ボギーの72でまとめて単独首位に立つと、最終日も僅差で続くライバルを尻目に好調を維持。3つのバーディ



順位	名前	出場コース	1R	2R	TOTAL
1	那波芳比古	富士・山中湖	72	74	146
2	岩井 正一	八千代	74	75	149
3T	西山 靖彦	八千代	74	78	152
3T	市川 隆夫	朝霞	73	79	152
5T	岩波 肇	シード・富士見高原	76	77	153
5T	下田 彰	千葉よみうり	76	77	153
7T	立原 利夫	オールドオーチャード	75	79	154
7T	藤本 正三	昭和の森	74	80	154
9T	町田 元一	八千代	79	76	155
9T	岡村 平	富士グリーンヒル	76	79	155

女子シニア選手権西日本地区決勝

渡部美弥子選手が2位に4打差をつける圧勝

女子シニアアマチュアゴルファーズ選手権西日本地区決勝は、通算18オーバーの162ストロークで、渡部美弥子選手(60歳)が大会初優勝を飾った。

- 9月26日~27日
- 兵庫県／青野運動公園アオノゴルフコース
- 5,729ヤード、パー72 参加者43名



「難しいコースですし、一歩間違えばOBだつて出る。とにかく慎重にラウンドした結果が優勝に結び付いた」と、ほつと胸を撫でおろす渡部選手。初日は首位タイではあつたが83と目標としていた70台に手は届かなかつた。「緊張してしまい、スイングが合わせ打ちになつていて。2日目は思い切つたスイングをしていくこ

う」と気持ちを切り替え、最終日に「優勝なんて意識もしていなかつたでなかつた。」しかし、なんとか3位以内に入ることができれば」と挑んだ今大会。2日目、同組でラウンドした橋川美紀選手(52歳)はアオノゴルフコースから予選を通過。「とにかく橋川さんに付いていくことができれば」と攻めるホーリは攻め、守るホールは守つた。気配が付けば、橋川選手に4打差。自分がプレーに徹したことが自身初めての大きなタイトルに結び付いた。

「2日間を通してダブルボギーが1つもなかつた。自分なりに良いゴルフができた」と照れ笑いを浮かべた。



順位	名前	出場コース	1R	2R	TOTAL
1	渡部美弥子	よみうりウエスト	83	79	162
2T	生田 美紀	グランドオーラ	86	80	166
2T	橋川 美紀	アオノ	83	83	166
4T	河田 圭子	岡山空港	86	81	167
4T	八幡三千代	アオノ	82	85	167
6T	大井 鏡子	グランドオーラ	88	83	171
6T	浜 裕子	シード・よみうりウエスト	87	84	171
8	大畠 曜香	大阪	90	82	172
9T	木村 裕子	シード・岡山空港	89	85	174
9T	上田 敬子	岡山空港	88	86	174

ミッドシニア選手権西日本地区決勝

小田桐正治選手が 1打差で逃げ切り初優勝！

ミッドシニアアマチュアゴルファーズ選手権西日本地区決勝は、通算5オーバーの149ストロークで、小田桐正治選手(69歳)が大会初優勝を飾った。

- 9月26日~27日
- 兵庫県/青野運動公園アオノゴルフコース
- 6,355ヤード、パー72 参加者117名



最終ホールでパーをもぎ取り初優勝を決める

最終日、最終ホールまでもつれ込んだ優勝争い。17番を終えて、首位・小田桐選手が5オーバー、追走する高瀬和弘選手(67歳)が6オーバー。1打差で迎えた最終18番は、小田桐選手が3メートルのパーカットを残して3オ�。一方高瀬選手は2メートルのバーインヤンスにつける。小田桐選手が外し、高瀬選手が決めれば逆転という手に汗握る場面だが、

百戦錬磨の小田切選手は冷静だった。『これを入れれば、相手が入れてもプレーOK。きっと相手の方がプレッシャーは掛かっているはず』。そう肝に銘じて先に打ったパーカットは真ん中からカップイン、対する高瀬選手のバーインパットは惜しくも外れてパー。1打差で逃げ切った。尚、1打差の2位に入った神谷悠朗選手(67歳)も、最終日に1アンダーマークする健闘を見せた。



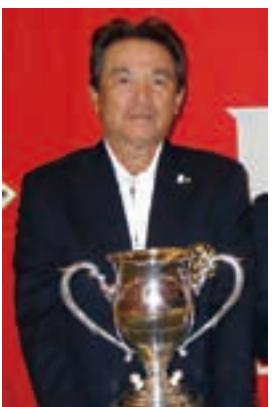
順位	名前	出場コース	1R	2R	TOTAL
1	小田桐正治	京都大原	74	75	149
2	高瀬 和弘	グランドオーク	75	75	150
3T	安川 寛昭	京都大原	77	75	152
3T	黒田 進	よみうりウエスト	74	78	152
5T	増元 公男	アオノ	79	74	153
5T	吉谷 博之	シード・ダンロップ	76	77	153
7T	埴岡 孝一	アオノ	78	77	155
7T	古澤 光廣	ダンロップ	78	77	155
7T	永井 文雄	シード・よみうりウエスト	75	80	155
10T	岡 藤太郎	ベアズパウジャパン	82	74	156

ミッドシニア選手権中部日本地区決勝

木村雄一選手が雨の中、 3打差を逆転して優勝を飾る

ミッドシニアアマチュアゴルファーズ選手権中部地区決勝は、最終ラウンドを7位タイからスタートした木村雄一選手(68歳)が、2日間通算1オーバー、145ストロークで逆転優勝を果たした。

- 9月25日~26日
- 三重県/アリジカントリークラブ 花垣コース
- 6,305ヤード、パー72 参加者126名



雨男の本領発揮。 周到な準備で雨中戦を制す

午後3時過ぎからの予報だった雨が昼前から降り始め、次第に雨脚が強まる中、グリーン上はカジュアルウォーターアンダードで首位に並んでいた山形修選手(68歳)が1番でOBを打つなど連続ボギーを叩き、青木清治選手(68歳)も3番のパー3で2メートルの中、1番パー5で残り206ヤードからの2打目を1メートルにつけ、鮮やかなイーグルを奪つた2組前の木村選手がイーブンパーでトップに立つた。



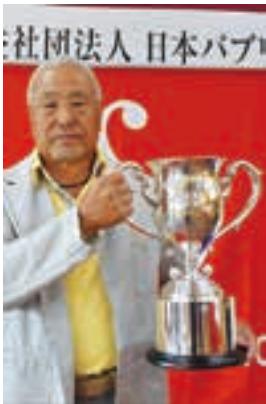
順位	名前	出場コース	1R	2R	TOTAL
1	木村 雄一	名古屋港	74	71	145
2	神谷 悠朗	名古屋港	75	71	146
3	高木 清美	正眼寺	74	76	150
4	中村 幸造	小杉	74	77	151
5T	井上 真一	正眼寺	77	75	152
5T	稻垣 昇	亀山	73	79	152
7	北川 富重	アリジ	77	76	153
8T	金村 正春	森林公園	78	77	155
8T	木下 晶夫	名古屋港	77	78	155
8T	城 伸起	正眼寺	73	82	155

グランドシニア選手権中部日本地区決勝

長井和史選手が3打差の独走で初優勝を飾る

グランドシニアアマチュアゴルファーズ選手権中部日本地区決勝は、最終ラウンドを2位からスタートした長井和史選手(71歳)が、通算7オーバー、151ストロークで初優勝を決めた。

■4月26日~27日
■愛知県／名古屋広幡ゴルフコース
■6,120ヤード、パー72 参加者54名



庄巻の4バーで、ライバルの追撃を退ける

初日、1打差の2位につけていた長井選手が2日目に74をマークして逆転優勝、昨年の「岐阜県グランシニア選手権」に続く、自身2度目の優勝を飾った。

初日76で首位に立つ岩永直幸選手(69歳)が、スタートの10番パー4でトリプルボギーを打った時点で、首位は長井選手と入れ替わった。勝負は一緒に戻る城伸起選手(70歳)、吉川広司

「昨年の日本グランシニアで84歳のプレイヤーと回ったんですが、まあ元気でね！負けられんと思つたよ」と、一緒に戻った城選手、吉川選手共にゴルフ仲間で「回りやすかつたのが良かった」と、2人に感謝をした。中部には「中部シニア会」という任意の懇親会があつて、定期的にゴルフを楽しんでいたが、今回多くの会員が

選手(76歳)との戦いとなつたが、前半1バーデイ、3ボギーの38でターンした長井選手が後半は3バーデイ、3ボギーのパープレーで上がり、ライバルたちを振り切つた。最終的には2位に3打差をつける快勝だつた。

「初日、短いパットを外しまくったので、きょうは重めのやつ(パター)を持って来た。3パットもしたけどバーでイパットもよく入つてくれた」と言うとおり、4バーデイが効いた。71歳ヤードを飛ばす。



順位	名前	出場コース	1R	2R	TOTAL
1	長井 和史	正眼寺	77	74	151
2	城 伸起	正眼寺	78	76	154
3	小川 竹男	龜山	79	78	157
4T	片桐 富男	CRC三重白山	80	79	159
4T	大田 照己	名古屋広幡	79	80	159
4T	安達 幸雄	名古屋港	79	80	159
7T	下川 芳美	CRC三重白山	82	79	161
7T	五十川康雄	名古屋広幡	80	81	161
7T	和田 秀穂	アリジ	78	83	161
10	吉川 広司	正眼寺	78	84	162

グランドシニア選手権東日本地区決勝

俵聖徳選手が7打差の独走で初優勝を飾る

グランドシニアアマチュアゴルファーズ選手権東日本地区決勝は、最終ラウンドを単独トップからスタートした俵聖徳選手(71歳)が、通算3オーバー、147ストロークで初優勝を決めた。

■5月17日~18日
■千葉県／八千代ゴルフクラブ
■5,863ヤード、パー72 参加者40名



「身体のキレがよく、距離も出ている」という俵選手。初日は風の中、ショットを叩く。競争の激しい東日本地区では、前半は西山靖彦選手(70歳)に4打差をつけ、単独首位に立つ。3位には77ストロークで小池健久選手(70歳)、野中攻選手(75歳)、菊地政雄選手(71歳)が続く。

今年一番の調子で一人旅。後続を振り切る

その差は実に7打。俵選手が独走でグランドシニア初優勝を決めた。初日は4バーデイ、4ボギーの72。2位の西山靖彦選手(70歳)に4打差をつけ、単独首位に立つ。3位には77ストロークで小池健久選手(70歳)、野中攻選手(75歳)、菊地政雄選手(71歳)が続く。この時点では前に行く伊藤正幸選手(78歳)が浮上しているが、差は大きく開いており、もう追つてくる選手はないなかつた。俵選手は最終ホールでボギーを叩いたが、後半は36でまとめてトータル75。通算3オーバーで、2位に7打差をつける庄勝で勝利を手に收めた。

「グランドシニアは今年から参加。下の年齢の人たちが来る前にいい成績を残しておきたかった」と、喜びの言葉で締め括つた。



順位	名前	出場コース	1R	2R	TOTAL
1	俵 聖徳	富士箱根	72	75	147
2	伊藤 正幸	紫あやめ 36	80	74	154
3T	北原 弘	富士グリーンヒル	79	76	155
3T	中村 源治	JGM宇都宮	78	77	155
5	小野 進	JGM宇都宮	82	74	156
6T	富永 正夫	昭和の森	80	79	159
6T	小池 健久	富士・山中湖	77	82	159
6T	西山 靖彦	八千代	76	83	159
9	菊地 政雄	朝霞	77	83	160
10T	三塚 龍紀	紫あやめ 36	79	82	161

PGS会員コース一覧【76コース】

2019年
1月現在

HDCP	コース名	都道府県	TEL
東日本地区			
JGA	隨縁カントリークラブ 恵庭コース	(北海道)	0123-33-8080
JGA	ダイナスティゴルフクラブ北広島	(北海道)	011-376-2611
JGA	青森スプリング・ゴルフクラブ	(青森県)	0173-72-1011
JGA	グレースリッジカントリークラブ	(宮城県)	022-281-6555
JGA	那須野ヶ原カントリークラブ	(栃木県)	0287-23-1101
JGA	イーストウッドカントリークラブ	(栃木県)	028-674-8848
JGA	ハーモニールーズゴルフクラブ	(栃木県)	0282-92-0489
JGA	JGM 宇都宮ゴルフクラブ	(栃木県)	028-665-8080
JGA	古河ゴルフリンクス	(茨城県)	0280-22-4000
JGA	オールドオーチャードゴルフクラブ	(茨城県)	029-292-7777
JGA	ワインザーパーク ゴルフ アンド カントリークラブ	(茨城県)	0296-88-2221
JGA	下館ゴルフ俱楽部	(茨城県)	0296-20-1111
JGA	サンクチュアリ霞南ゴルフ俱楽部	(茨城県)	0299-79-1313
JGA	新玉村ゴルフ場	(群馬県)	0270-65-8802
JGA	前橋ゴルフ場	(群馬県)	027-231-7575
JGA	朝霞パブリックゴルフ場	(埼玉県)	048-456-0831
JGA	妻沼ゴルフ場	(埼玉県)	048-588-8565
JGA	市原ゴルフクラブ	(千葉県)	0436-92-1713
JGA	市原ゴルフクラブ 柿の木台コース	(千葉県)	0436-36-1720
JGA	ムーンレイクゴルフクラブ鶴舞コース	(千葉県)	0436-89-2215
JGA	千葉よみうりカントリークラブ	(千葉県)	0436-92-2611
JGA	紫あやめ36	(千葉県)	04-7124-1177
JGA	八千代ゴルフクラブ	(千葉県)	047-488-3156
JGA	ムーンレイクゴルフクラブ市原コース	(千葉県)	0436-37-8855
JGA	新君津ベルグリーンカントリー俱楽部	(千葉県)	0439-70-5130
JGA	ディスターゴルフクラブ	(千葉県)	0475-43-0211
JGA	ムーンレイクゴルフクラブ茂原コース	(千葉県)	0475-26-5500
JGA	昭和の森ゴルフコース	(東京都)	042-543-1271
JGA	丘の公園清里ゴルフコース	(山梨県)	0551-48-3456
PGS	山中湖畔 富士ゴルフコース	(山梨県)	0555-62-1227
JGA	小淵沢カントリークラブ	(山梨県)	0551-36-4411
JGA	富士見高原ゴルフコース	(長野県)	0266-66-2221
JGA	ウィーゴカントリー俱楽部	(長野県)	026-290-3000
JGA	三井の森軽井沢カントリー俱楽部	(長野県)	0267-48-3105
JGA	鹿島南蓼科ゴルフコース	(長野県)	0266-76-2222
JGA	富士グリーンヒルゴルフコース	(静岡県)	0550-76-2717
JGA	富士ヘルスカントリークラブ	(静岡県)	0550-76-0550
中部日本地区			
JGA	正眼寺カントリークラブ	(岐阜県)	0574-29-1891
JGA	ウッドフレンズ森林公園ゴルフ場	(愛知県)	0561-53-3993
JGA	ウッドフレンズ名古屋港ゴルフ俱楽部	(愛知県)	0567-68-6651
JGA	名古屋広幡ゴルフコース	(愛知県)	0565-48-1551
JGA	定光寺カントリークラブ	(愛知県)	0561-48-4821
JGA	亀山ゴルフクラブ	(三重県)	0595-82-6511
JGA	アリジカントリークラブ 花垣コース	(三重県)	0595-39-1008
JGA	小松パブリック	(石川県)	0761-65-2277
JGA	小杉カントリークラブ	(富山県)	0766-56-7558
西日本地区			
JGA	琵琶湖レークサイドゴルフコース	(滋賀県)	077-585-1321
JGA	滋賀甲南カントリークラブ	(滋賀県)	0748-86-5577
JGA	ベアズパウ ジャパン カントリークラブ	(滋賀県)	0748-65-2525
JGA	ROSE GOLF CLUB (旧: しがらきの森カントリークラブ)	(滋賀県)	0748-83-0031
JGA	京都大原パブリックコース	(京都府)	075-744-2331
JGA	大阪パブリックゴルフ場	(大阪府)	072-869-0221
JGA	京阪ゴルフ俱楽部	(大阪府)	072-677-9900
JGA	ワールドカントリーゴルフクラブ	(大阪府)	0721-93-7550
JGA	北神戸ゴルフ場	(兵庫県)	078-986-2233
JGA	西神戸ゴルフ場	(兵庫県)	078-994-6611
JGA	ダンロップゴルフコース	(兵庫県)	078-982-1221
JGA	武庫ノ台ゴルフコース	(兵庫県)	078-985-2361
JGA	青野運動公園アオノゴルフコース	(兵庫県)	0790-45-1556
JGA	姫路シーサイドゴルフコース	(兵庫県)	079-254-5881
JGA	よみうりゴルフウェストコース	(兵庫県)	0797-62-1121
JGA	六甲国際パブリックコース	(兵庫県)	078-583-0351
JGA	湯村カンツリークラブ	(兵庫県)	0796-92-2009
JGA	つるやカントリークラブ西宮北コース	(兵庫県)	078-903-6677
JGA	グランドオークプレイヤーズコース	(兵庫県)	0795-47-2109
JGA	マスターズゴルフ俱楽部	(兵庫県)	0794-83-3333
JGA	米子ゴルフ場	(鳥取県)	0859-29-4444
PGS	花回廊ゴルフコース	(岡山県)	086-262-3028
JGA	岡山空港ゴルフコース	(岡山県)	086-294-4477
JGA	水島ゴルフリンクス	(岡山県)	086-440-1636
JGA	奥津ゴルフ俱楽部	(岡山県)	0868-52-7011
JGA	高松パブリックゴルフコース	(香川県)	087-834-1524
JGA	丸亀パブリックゴルフコース	(香川県)	0877-23-8200
JGA	コート・ペール徳島ゴルフクラブ	(徳島県)	0884-42-3441
JGA	瀬板の森北九州ゴルフコース	(福岡県)	093-622-6001
JGA	トム・ワトソンゴルフコース	(宮崎県)	0985-21-1301

グランドシニア選手権西日本地区決勝

青田光宏選手が2位に 5打差をつけて快勝

グランドシニアアマチュアゴルファーズ選手権西日本地区決勝は、単独トップからスタートした青田光宏選手(69歳)が2日間通算8オーバー、152ストロークで優勝を飾った。

- 5月15日～16日
- 兵庫県／北神戸ゴルフ場
- 6,071ヤード、パー72 参加者54名



初開催となった西日本地区決勝。初日75で2位に2打差をつけてスタートした青田選手が、2日目も77をマークし、2位に5打差をつけて快勝した。「この歳にもなって恥ずかしいのですが、優勝を意識して後半はプレッシャーが掛かりました」と少し照れくつて全日本ミッドシニアに出場した際にスコアを崩し、試合途中にも関わらず優勝を意識していました」と少しその表情を浮かべた青田選手。か

かなかつた。これまでの青田選手ならこのままスコアを崩していたかもしれません。でも2オンしながら3パート。ライアンは読めていたが思うように手が動かなかつた。このままスコアを崩していたかもしれないが、心に刻んでいた「諦めない」という文字がもう一度気持ちを高ぶらせる。8番パー3で上りのフックラインを読み切り見事バーディ、優勝を決定づけた。誕生日は昭和23年12月25日。今大会の出場資格は「昭和23年12月31日以前の誕生」とある。つまり全選手の中で最も年齢が若い。ドライブバーディottの飛距離も250ヤードを誇る。パワーは、まだまだ伸び代十分だ。



順位	名 前	出場コース	1R	2R	TOTAL
1	青田 光宏	アオノ	75	77	152
2	山岡 照明	京阪	78	79	157
3T	厚見信一郎	グランドオーク	84	75	159
3T	織田 秀宣	北神戸	79	80	159
3T	黒田 進	よみうりウエスト	77	82	159
6T	高橋 幸喜	西神戸	84	76	160
6T	嘉陽 宗賢	守礼	84	76	160
8T	北山 康司	大阪	83	78	161
8T	松本 健一	水島	79	82	161
10T	森 秀夫	ダンロップ	82	80	162



全日本アマチュアゴルファーズ選手権

開催日：2019年6月17日(月)～18日(火)
開催コース：**コート・ベール徳島ゴルフクラブ**
住所：〒779-1293 徳島県阿南市那賀川町みどり台 1-1
TEL：0884-42-3441
ホール数：18H / 7,011Y / Par72
アクセス：徳島自動車道・徳島 ICより25km 以内
HP : <http://cvt.co.jp/>

2019年度 全日本大会 開催コース



全日本ミッドアマチュアゴルファーズ選手権

開催日：2019年9月11日(水)～12日(木)
開催コース：**アリジカントリークラブ花垣コース**
住所：〒518-1154 三重県伊賀市大滝 1258
TEL：0595-39-1008
ホール数：18H / 6,804Y / Par72
アクセス：名阪国道・治田 ICより5km 以内
HP : <http://www.ariji.co.jp/>



全日本女子アマチュアゴルファーズ選手権

全日本グランドシニアアマチュアゴルファーズ選手権
開催日：2019年5月29日(水)～30日(木)
開催コース：**千葉よみうりカントリークラブ**
住所：〒290-0228 千葉県市原市岩字三重山 1
TEL：0436-92-2611
ホール数：18H / 6,477Y / Par72
アクセス：館山自動車道・市原 ICより16km 以内
HP : <http://www.yomiuri-golf.co.jp/>



全日本女子シニアアマチュアゴルファーズ選手権 全日本ミッドシニアアマチュアゴルファーズ選手権

開催日：2019年10月9日(水)～10日(木)
開催コース：**那須野ヶ原カントリークラブ**
住所：〒324-0012 栃木県大田原市南金丸 2025
TEL：0287-23-1101
ホール数：18H / 6,904Y / Par72
アクセス：東北自動車道・矢板 IC より25km 以内
HP : <http://www.nasunogahara.cc/>



全日本シニアアマチュアゴルファーズ選手権 全日本女子ミッドアマチュアゴルファーズ選手権

開催日：2019年6月26日(水)～27日(木)
開催コース：**グランドオークプレイヤーズコース**
住所：〒673-1304 兵庫県加東市長貞 1843
TEL：0795-47-2109
ホール数：18H / 7,009Y / Par72
アクセス：中国自動車道・ひょうご東条 IC より5km 以内
HP : <http://www.grand-oak-players.com/>

PGSからのご案内

1. PGS主催競技に関するご案内

(1) 女子アマチュアゴルファーズ選手権

- ・2019年度より、申込み期間が2月1日～28日までと変更になりますので、ご注意ください。
- ・グランドシニアアマチュアゴルファーズ選手権と全日本大会、地区決勝を同日同会場にて開催いたします。

(2) シニアアマチュアゴルファーズ選手権

- ・2019年度より、申込み期間が3月1日～31日までと変更になりますので、ご注意ください。
- ・女子ミッドアマチュアゴルファーズ選手権と全日本大会、地区決勝を同日同会場にて開催いたします。

(3) アマチュアゴルファーズ選手権（中部日本地区のみ）

2019年度より、中部日本アマチュアゴルファーズ選手権地区決勝成績上位者には、以下の通り出場資格が付与されます。

- ①25歳以上の成績上位者3名に対して、当年度中部日本ミッドアマチュアゴルファーズ選手権地区決勝（予選に出場した場合を除く）の出場資格を付与します。
- ②55歳以上の成績上位者3名に対して、翌年度中部日本シニアアマチュアゴルファーズ選手権地区決勝（予選に出場した場合を除く）の出場資格を付与します。

(4) 選手権競技予選競技の繰上げ（東日本・中部日本地区のみ）

2019年度より、東日本地区と中部日本地区にて開催の選手権競技予選通過者に地区決勝欠場者が生じた場合、地区決勝開催日の3日前まで繰上げを行います。

(5) 選手権競技予選参加賞の廃止（西日本地区のみ）

2019年度より、西日本地区にて開催の選手権競技予選参加賞は廃止いたします。

(6) ダブルスゴルフ選手権

- ・2019年度より、従来のスクランブル方式（スクラッチ）の部門に加え、ベストスコア方式の部門を新設いたします。なお、スクランブル方式（ダブルペリア）の部門は廃止いたします。
- ・大会名称を全日本パブリックダブルススクランブルゴルフ選手権から全日本パブリックダブルスゴルフ選手権に名称を変更いたします。

2. 競技参加料改定のご案内

(1) アマチュアゴルファーズ選手権・ミッドアマ選手権・シニア選手権

2019年度より、西日本地区予選競技に限り、参加料5,000円（消費税除く）に改定いたします。なお、参加賞は進呈いたしません。

(2) 競技参加料の表記変更

2019年10月1日から消費税率が10%になる予定です。この消費税の税率変更に伴い、2019年度より各競技の参加料表記を、税抜き料金に変更いたします。参加料をお振込みの際は、消費税を含めた金額をお支払いください。

2019年度 PGS スポンサー杯／ハンディ杯

詳細は各開催事項等にてご確認ください

ダンロップ杯

■東日本地区（予選）

- 4月 23日（火）千葉よみうりカントリークラブ
4月 23日（火）朝霞パブリックゴルフ場
4月 26日（金）市原ゴルフクラブ 柿の木台コース
4月 26日（金）JGM 宇都宮ゴルフクラブ
4月 26日（金）ムーンレイクゴルフクラブ市原コース
5月 21日（火）小淵沢カントリークラブ
5月 21日（火）下館ゴルフ俱楽部
5月 21日（火）千葉よみうりカントリークラブ
5月 21日（火）富士グリーンヒルゴルフコース
6月 7日（金）オールドオーチャードゴルフクラブ
6月 7日（金）那須野ヶ原カントリークラブ
6月 7日（金）古河ゴルフレンクス
6月 7日（金）市原ゴルフクラブ 柿の木台コース
6月 17日（月）サンクチュアリ霞南ゴルフ俱楽部
6月 17日（月）イーストウッドカントリークラブ
6月 17日（月）千葉よみうりカントリークラブ
7月 4日（木）新君津ベルグリーンカントリー俱楽部
7月 4日（木）市原ゴルフ俱楽部
7月 4日（木）市原ゴルフクラブ 柿の木台コース
7月 22日（月）那須野ヶ原カントリークラブ
7月 22日（月）グレースリッジカントリークラブ
7月 22日（月）新玉村ゴルフ場
7月 22日（月）朝霞パブリックゴルフ場
7月 22日（月）千葉よみうりカントリークラブ
8月 16日（金）古河ゴルフレンクス
8月 16日（金）市原ゴルフクラブ 柿の木台コース
8月 16日（金）紫あやめ36

- 8月 16日（金）八千代ゴルフクラブ
8月 16日（金）ムーンレイクゴルフクラブ茂原コース
9月 10日（火）富士見高原ゴルフコース
9月 10日（火）那須野ヶ原カントリークラブ
9月 10日（火）サンクチュアリ霞南ゴルフ俱楽部
9月 10日（火）ムーンレイクゴルフクラブ市原コース
9月 18日（水）下館ゴルフ俱楽部
9月 18日（水）オールドオーチャードゴルフクラブ
9月 18日（水）新君津ベルグリーンカントリー俱楽部
9月 18日（水）丘の公園清里ゴルフコース
11月 14日（木）朝霞パブリックゴルフ場
11月 14日（木）千葉よみうりカントリークラブ
12月 10日（火）ムーンレイクゴルフクラブ市原コース
12月 10日（火）那須野ヶ原カントリークラブ
12月 10日（火）ハーモニーヒルズゴルフクラブ
12月 10日（火）千葉よみうりカントリークラブ
12月 24日（火）前橋ゴルフ場
12月 24日（火）千葉よみうりカントリークラブ
12月 24日（火）八千代ゴルフクラブ
2020年
1月 9日（木）千葉よみうりカントリークラブ
1月 9日（木）オールドオーチャードゴルフクラブ
1月 9日（木）ディスターゴルフクラブ
2月 12日（水）ハーモニーヒルズゴルフクラブ
2月 12日（水）千葉よみうりカントリークラブ
2月 12日（水）八千代ゴルフクラブ
2月 26日（水）昭和の森ゴルフコース
2月 26日（水）千葉よみうりカントリークラブ
2月 26日（水）八千代ゴルフクラブ

東日本地区決勝

- 11月 19日（火）富士グリーンヒルゴルフコース（静岡県）
■中部日本地区（予選）
3月 12日（火）正眼寺カントリークラブ
3月 12日（火）ウッドフレンズ名古屋港ゴルフ俱楽部
3月 12日（火）アリジカントリークラブ 花垣コース
4月 18日（木）名古屋広幡ゴルフコース
4月 18日（木）ウッドフレンズ名古屋港ゴルフ俱楽部
4月 18日（木）アリジカントリークラブ 花垣コース
4月 18日（木）小杉カントリークラブ
5月 28日（火）正眼寺カントリークラブ
5月 28日（火）ウッドフレンズ名古屋港ゴルフ俱楽部
5月 28日（火）小杉カントリークラブ
6月 6日（木）ウッドフレンズ森林公園ゴルフ場
7月 25日（木）ウッドフレンズ森林公園ゴルフ場
9月 27日（金）正眼寺カントリークラブ
9月 27日（金）定光寺カントリークラブ
11月 21日（木）ウッドフレンズ名古屋港ゴルフ俱楽部
11月 21日（木）名古屋広幡ゴルフコース
11月 21日（木）亀山ゴルフクラブ
11月 21日（木）小松パブリック
2020年

2019年度 パブリックダブルスゴルフ選手権

- 東日本A地区（予選）
7月 4日（木）イーストウッドカントリークラブ
7月 15日（月）サンクチュアリ霞南ゴルフ俱楽部
7月 30日（火）新玉村ゴルフ場
8月 8日（木）八千代ゴルフクラブ
地区決勝 9月 25日（水）昭和の森ゴルフコース（東京都）
■東日本B地区（予選）
8月 4日（木）ハーモニーヒルズゴルフクラブ
8月 21日（水）前橋ゴルフ場
8月 30日（金）JGM 宇都宮ゴルフクラブ

2019年度 PGS ドリーム・エイジゴルフ大会

- 東日本地区（予選）
4月 5日（金）千葉よみうりカントリークラブ
6月 5日（水）千葉よみうりカントリークラブ
6月 5日（水）八千代ゴルフクラブ
7月 4日（木）朝霞パブリックゴルフ場
7月 4日（木）千葉よみうりカントリークラブ
7月 4日（木）紫あやめ36
7月 4日（木）八千代ゴルフクラブ
9月 5日（木）下館ゴルフ俱楽部
9月 5日（木）千葉よみうりカントリークラブ
10月 15日（火）那須野ヶ原カントリークラブ（ペア戦）

1月 9日（木）ウッドフレンズ名古屋港ゴルフ俱楽部
1月 9日（木）アリジカントリークラブ 花垣コース

- 2月 20日（木）名古屋広幡ゴルフコース
2月 20日（木）アリジカントリークラブ 花垣コース

中部日本地区決勝

- 11月 6日（水）定光寺カントリークラブ（愛知県）

西日本地区（予選）

- 3月 31日（日）丸亀バブリックゴルフコース
4月 17日（水）高松バブリックゴルフコース
5月 16日（木）水島ゴルフリンクス
5月 17日（金）姫路シーサイドゴルフコース
5月 26日（木）京阪ゴルフ俱楽部
5月 30日（木）京都大原バブリックゴルフコース
5月 31日（金）西神戸ゴルフ場
6月 5日（水）北神戸ゴルフ場
6月 13日（木）ダンロップゴルフコース
6月 16日（木）滋賀甲南カントリークラブ
6月 24日（月）よみうりゴルフエスクース
7月 9日（火）ペアズパウ ジャパン カントリークラブ
7月 10日（水）奥津ゴルフ俱楽部
7月 12日（金）大阪バブリックゴルフ場
7月 26日（金）武庫ノ台ゴルフコース
8月 17日（火）青野運動公園アオノゴルフコース
9月 15日（日）コート・ペール徳島ゴルフクラブ
9月 17日（火）グランドオークブレイヤーズコース

西日本地区決勝

- 11月 12日（火）ダンロップゴルフコース（兵庫県）

プリヂストン杯

■東日本地区（予選）

- 4月 1日（月）ウイーゴカントリー俱楽部
4月 1日（月）ハーモニーヒルズゴルフクラブ
4月 1日（月）千葉よみうりカントリークラブ
5月 7日（火）千葉よみうりカントリークラブ
5月 7日（火）三井の森軽井沢カントリー俱楽部
5月 27日（木）鹿島南蓼科ゴルフコース
5月 27日（月）那須野ヶ原カントリークラブ
6月 13日（木）ムーンレイクゴルフクラブ茂原コース
6月 13日（木）ウインザーパーク ゴルフ アンド カントリークラブ
6月 13日（木）下館ゴルフ俱楽部
6月 13日（木）八千代ゴルフクラブ
6月 13日（木）富士見高原ゴルフコース
7月 16日（火）ハーモニーヒルズゴルフコース
7月 16日（火）千葉よみうりカントリークラブ
7月 16日（火）紫あやめ36
7月 16日（火）デイスターゴルフクラブ
9月 4日（水）デイスターゴルフクラブ
9月 4日（水）朝霞パブリックゴルフ場
9月 4日（水）昭和の森ゴルフコース
9月 4日（水）小淵沢カントリークラブ
9月 4日（水）鹿島南蓼科ゴルフコース
9月 24日（火）イーストウッドカントリークラブ
9月 24日（火）ハーモニーヒルズゴルフクラブ
9月 24日（火）ウインザーパーク ゴルフ アンド カントリークラブ
9月 24日（火）妻沼ゴルフ場
9月 24日（火）千葉よみうりカントリークラブ
10月 8日（火）丘の公園清里ゴルフコース
10月 8日（火）千葉よみうりカントリークラブ
10月 8日（火）ムーンレイクゴルフクラブ市原コース
11月 28日（木）新玉村ゴルフ場
11月 28日（木）千葉よみうりカントリークラブ
2020年
1月 30日（木）八千代ゴルフクラブ
1月 30日（木）新玉村ゴルフ場
1月 30日（木）千葉よみうりカントリークラブ
東日本地区決勝
2020年 3月 10日（火）ハーモニーヒルズゴルフクラブ（栃木県）

■中部日本地区（予選）

- 3月 28日（木）名古屋広幡ゴルフコース
3月 28日（木）ウッドフレンズ名古屋港ゴルフ俱楽部
3月 28日（木）定光寺カントリークラブ
3月 28日（木）亀山ゴルフクラブ
6月 20日（木）名古屋広幡ゴルフコース
6月 20日（木）ウッドフレンズ名古屋港ゴルフ俱楽部
6月 20日（木）亀山ゴルフクラブ
6月 20日（木）小松パブリック
7月 9日（火）ウッドフレンズ名古屋港ゴルフ俱楽部
7月 9日（火）アリジカントリークラブ 花垣コース
7月 9日（火）小杉カントリークラブ

東日本地区決勝

- 2020年 3月 10日（火）ハーモニーヒルズゴルフクラブ（栃木県）

■中部日本地区（予選）

- 3月 28日（木）名古屋広幡ゴルフコース
3月 28日（木）ウッドフレンズ名古屋港ゴルフ俱楽部
3月 28日（木）定光寺カントリークラブ
3月 28日（木）亀山ゴルフクラブ
6月 20日（木）名古屋広幡ゴルフコース
6月 20日（木）ウッドフレンズ名古屋港ゴルフ俱楽部
6月 20日（木）亀山ゴルフクラブ
6月 20日（木）小松パブリック
7月 9日（火）ウッドフレンズ名古屋港ゴルフ俱楽部
7月 9日（火）アリジカントリークラブ 花垣コース
7月 9日（火）小杉カントリークラブ

サンレオ杯

■東日本地区（予選）

- 4月 11日（木）市原ゴルフクラブ
4月 11日（木）八千代ゴルフクラブ
4月 25日（火）JGM 宇都宮ゴルフクラブ
6月 25日（火）朝霞パブリックゴルフ場
6月 25日（火）千葉よみうりカントリークラブ
6月 25日（火）八千代ゴルフクラブ
8月 26日（月）グレースリッジカントリークラブ
8月 26日（月）那須野ヶ原カントリークラブ
8月 26日（月）前橋ゴルフ場
8月 26日（月）千葉よみうりカントリークラブ
10月 31日（木）三井の森軽井沢カントリー俱楽部
10月 31日（木）新玉村ゴルフ場
10月 31日（木）千葉よみうりカントリークラブ
11月 26日（火）妻沼ゴルフ場
11月 26日（火）朝霞パブリックゴルフ場
11月 26日（火）八千代ゴルフクラブ
11月 26日（火）ウッドフレンズ名古屋港ゴルフ俱楽部
11月 26日（火）名古屋広幡ゴルフコース
11月 26日（火）西神戸ゴルフ場
11月 26日（火）武庫ノ台ゴルフ場

中部日本地区（予選）

- 8月 22日（木）名古屋広幡ゴルフコース
8月 22日（木）ウッドフレンズ名古屋港ゴルフ俱楽部
8月 22日（木）小杉カントリークラブ
10月 3日（木）名古屋広幡ゴルフコース
10月 3日（木）ウッドフレンズ名古屋港ゴルフ俱楽部
10月 3日（木）小松パブリック
10月 3日（木）小杉カントリークラブ
11月 1日（金）正眼寺カントリークラブ
11月 1日（金）ウッドフレンズ名古屋港ゴルフ俱楽部
11月 1日（金）定光寺カントリークラブ
11月 1日（金）小杉カントリークラブ
12月 3日（火）ウッドフレンズ森林公園ゴルフ場
12月 3日（火）名古屋広幡ゴルフコース
12月 16日（月）正眼寺カントリークラブ
12月 16日（月）ウッドフレンズ名古屋港ゴルフ俱楽部
12月 16日（月）亀山ゴルフクラブ
2020年
1月 21日（火）名古屋広幡ゴルフコース
1月 21日（火）ウッドフレンズ名古屋港ゴルフ俱楽部
1月 21日（火）定光寺カントリークラブ
1月 21日（火）亀山ゴルフクラブ

■西日本地区（予選）

- 7月 26日（金）西神戸ゴルフ場
9月 5日（木）武庫ノ台ゴルフ場

ハンディ杯

■中部日本地区（予選）

- 4月 5日（金）ウッドフレンズ森林公園ゴルフ場
5月 9日（木）ウッドフレンズ名古屋港ゴルフ俱楽部
5月 9日（木）定光寺カントリークラブ
5月 9日（木）小松パブリック
2020年
2月 6日（木）ウッドフレンズ森林公園ゴルフ場

グランドマンスリー

- 東日本地区決勝 11月 7日（木）八千代ゴルフクラブ（千葉県）
中部日本地区決勝 11月 12日（火）アリジカントリークラブ花垣コース（三重県）
西日本地区決勝 11月 29日（金）西神戸ゴルフ場（兵庫県）

スクランブルの部：11月 28日（木）亀山ゴルフクラブ
ベストスコアの部：11月 29日（金）亀山ゴルフクラブ

8月 1日（木）名古屋広幡ゴルフコース

- 8月 27日（火）ウッドフレンズ名古屋港ゴルフ俱楽部

9月 3日（火）正眼寺カントリークラブ

- 地区決勝 10月 1日（火）ウッドフレンズ森林公園ゴルフ場（愛知県）

■西日本地区（予選）

- 7月 8日（月）青野運動公園アオノゴルフコース
8月 9日（金）グランドオークブレイヤーズコース
8月 20日（火）ダンロップゴルフコース
9月 6日（金）よみうりゴルフエスクース
地区決勝 10月 4日（金）ペアズパウ ジャパン カントリークラブ（滋賀県）
9月 18日（水）ウッドフレンズ森林公園ゴルフ場※
地区決勝 10月 18日（金）名古屋広幡ゴルフコース（愛知県）
■西日本地区（予選）
5月 24日（金）大阪パブリックゴルフ場
6月 7日（木）岡山空港ゴルフコース
6月 13日（木）ペアズパウ ジャパン カントリークラブ
9月 5日（木）つるやカントリークラブ 西宮北コース
9月 6日（金）京都大原パブリックコース
9月 25日（水）京阪ゴルフ俱楽部
10月 2日（水）京都大原パブリックコース
地区決勝 11月 1日（金）京都大原パブリックコース（京都府）

2019年度 全日本女子ミッドアマチュアゴルファーズ選手権

6月26日(水)~27日(木)
グランドオークブレイヤーズコース(兵庫県)

申込期間 3月1日~31日

■東日本地区(予選)

- 4月14日(日) 那須野ヶ原カントリークラブ
 4月16日(火) ハーモニーヒルズゴルフクラブ
 4月16日(火) 千葉よみうりカントリークラブ
 4月18日(木) 八千代ゴルフクラブ
 4月19日(金) ムーンレイクゴルフクラブ市原コース
 4月23日(火) グレースリッジカントリークラブ
 4月23日(火) サンクチュアリ霞南ゴルフ俱楽部
 4月23日(火) フレンチシップカントリークラブ
 4月25日(木) 朝霞パブリックゴルフ場
 4月25日(木) 市原ゴルフクラブ
 4月25日(木) 紫あやめ36
 4月26日(金) ウィンザーパーク ゴルフ アンド カントリークラブ
 5月6日(月) 館館シーサイドカントリークラブ
 5月8日(水) JGM 宇都宮ゴルフクラブ
 5月8日(水) 古河ゴルフリンクス
 5月8日(水) 昭和の森ゴルフコース

東日本地区決勝

- 5月23日(木)~24日(金) ハーモニーヒルズゴルフクラブ(栃木県)
 4月17日(水) 名古屋広幡ゴルフコース
 4月17日(水) COCOPA RESORT CLUB 白山ヴィレッジゴルフコース
 4月18日(木) ウッドフレンズ森林公園ゴルフ場
 4月23日(火) 正眼寺カントリークラブ
 4月23日(火) ウッドフレンズ名古屋港ゴルフ俱楽部
 4月24日(水) スリーリエクスカントリークラブ
 4月25日(木) アリジカントリークラブ 花垣コース
 4月26日(金) 小杉カントリークラブ

中部日本地区(予選)

- 5月13日(月)~14日(火) ウッドフレンズ森林公園ゴルフ場(愛知県)
 4月15日(月) 西神戸ゴルフ場
 4月16日(火) 今治カントリー倶楽部

中部日本地区決勝

- 4月16日(火) 佐賀クラシックゴルフ倶楽部
 4月17日(水) ROSE GOLF CLUB
 4月17日(水) 青野運動公苑アオノゴルフコース
 4月17日(水) 岡山空港ゴルフコース
 4月18日(木) ベアズバウ ジャパン カントリークラブ
 4月18日(木) 花回廊ゴルフコース
 4月19日(金) ダンロップゴルフコース
 4月19日(金) 姫路シーサイドゴルフコース
 4月20日(土) 京阪ゴルフ倶楽部
 4月22日(月) グランドオークブレイヤーズコース
 4月22日(月) コート・ペール徳島ゴルフクラブ
 4月23日(火) 北神戸ゴルフ場
 4月23日(火) 高松パブリックゴルフコース
 4月26日(金) 大阪パブリックゴルフ場
 4月26日(金) 奈良柳生カントリークラブ

西日本地区(予選)

- 5月16日(木)~17日(金) 岡山空港ゴルフコース(岡山県)

2019年度 全日本シニアアマチュアゴルファーズ選手権

6月26日(水)~27日(木)
グランドオークブレイヤーズコース(兵庫県)

申込期間 3月1日~31日

■東日本地区(予選)

- 4月16日(火) ハーモニーヒルズゴルフクラブ
 4月16日(火) 千葉よみうりカントリークラブ
 4月18日(木) 八千代ゴルフクラブ
 4月19日(金) 新君津ベルグリーンカントリー倶楽部
 4月19日(金) 丘の公園溝里ゴルフコース
 4月21日(月) 下館ゴルフ倶楽部
 4月23日(火) グレースリッジカントリークラブ
 4月23日(火) サンクチュアリ霞南ゴルフ倶楽部
 4月23日(火) フレンチシップカントリークラブ
 4月23日(火) ワンダーヒルゴルフコース
 4月25日(木) 朝霞パブリックゴルフ場
 4月25日(木) 市原ゴルフクラブ
 4月25日(木) 紫あやめ36
 4月25日(木) デイスターゴルフクラブ
 4月25日(木) 山中湖畔 富士ゴルフコース
 4月26日(金) ウィンザーパーク ゴルフ アンド カントリークラブ
 5月6日(月) 館館シーサイドカントリークラブ
 5月8日(水) JGM 宇都宮ゴルフクラブ
 5月8日(水) 古河ゴルフリンクス
 5月8日(水) ムーンレイクゴルフクラブ市原コース
 5月8日(水) 昭和の森ゴルフコース

地区決勝

- 5月23日(木)~24日(金) ハーモニーヒルズゴルフクラブ(栃木県)
 4月15日(月) COCOPA RESORT CLUB 三重白山ゴルフコース
 4月16日(火) 明世カントリークラブ
 4月17日(水) 名古屋広幡ゴルフコース
 4月17日(水) COCOPA RESORT CLUB 白山ヴィレッジゴルフコース
 4月18日(木) ウッドフレンズ森林公園ゴルフ場
 4月22日(月) 亀山ゴルフクラブ
 4月23日(火) 正眼寺カントリークラブ
 4月23日(火) ウッドフレンズ名古屋港ゴルフ倶楽部
 4月24日(水) スリーリエクスカントリークラブ
 4月25日(木) 定光寺カントリークラブ
 4月25日(木) アリジカントリークラブ 花垣コース
 4月26日(金) 小松パブリック
 4月26日(金) 小杉カントリークラブ

地区決勝

- 5月13日(月)~14日(火) ウッドフレンズ森林公園ゴルフ場(愛知県)
 4月15日(月) 西神戸ゴルフ場
 4月15日(月) 守礼カントリークラブ
 4月16日(火) 水島ゴルフリンクス
 4月16日(火) 今治カントリー倶楽部

中部日本地区(予選)

- 4月16日(火) 佐賀クラシックゴルフ倶楽部
 4月17日(水) 京阪ゴルフ倶楽部
 4月17日(水) 青野運動公苑アオノゴルフコース
 4月17日(水) 岡山空港ゴルフコース
 4月18日(木) ベアズバウ ジャパン カントリークラブ
 4月18日(木) 武庫ノ台ゴルフコース
 4月18日(木) 花回廊ゴルフコース
 4月19日(金) 京都大原パブリックコース
 4月19日(金) ダンロップゴルフコース
 4月19日(金) 姫路シーサイドゴルフコース
 4月19日(金) よみうりゴルフウェストコース
 4月19日(金) 奥津ゴルフ倶楽部
 4月22日(月) 球磨湖レーカサイドゴルフコース
 4月22日(月) グランドオークブレイヤーズコース
 4月22日(月) コート・ペール徳島ゴルフクラブ
 4月23日(火) 北神戸ゴルフ場
 4月23日(火) 高松パブリックゴルフコース
 4月24日(水) 米子ゴルフ場
 4月25日(木) 湯村カントリークラブ
 4月26日(金) 大阪パブリックゴルフ場

地区決勝

- 5月16日(木)~17日(金) 岡山空港ゴルフコース(岡山県)

2019年度 全日本女子シニアアマチュアゴルファーズ選手権

10月9日(水)~10日(木)
那須野ヶ原カントリークラブ(栃木県)

申込期間 7月1日~31日

■東日本地区(予選)

- 8月16日(金) JGM 宇都宮ゴルフクラブ
 8月19日(月) 那須野ヶ原カントリークラブ
 8月22日(木) サンクチュアリ霞南ゴルフ倶楽部
 8月23日(金) 紫あやめ36
 8月23日(金) 鹿島南蓼科ゴルフコース
 8月25日(日) 富士国際ゴルフ倶楽部
 8月26日(月) 富士見高原ゴルフコース
 8月28日(水) ウィンザーパーク ゴルフ アンド カントリークラブ
 8月28日(水) 昭和の森ゴルフコース
 8月29日(木) ハーモニーヒルズゴルフクラブ
 8月30日(金) ムーンレイクゴルフクラブ市原コース
 8月30日(金) よみうりゴルフ倶楽部
 9月3日(火) 千葉よみうりカントリークラブ
 9月3日(火) 八千代ゴルフクラブ

地区決勝

- 9月25日(水)~26日(木) 紫あやめ36(千葉県)
 4月28日(水) 名古屋広幡ゴルフコース
 4月29日(木) 正眼寺カントリークラブ
 4月29日(木) アリジカントリークラブ 花垣コース
 4月29日(木) 小杉カントリークラブ
 4月30日(金) ウッドフレンズ森林公園ゴルフ場
 9月4日(水) ウッドフレンズ名古屋港ゴルフ倶楽部

地区決勝

- 9月24日(火)~25日(水) ウッドフレンズ名古屋港ゴルフ倶楽部(愛知県)

西日本地区(予選)

- 8月19日(月) 太子カントリー倶楽部
 8月19日(月) コート・ペール徳島ゴルフクラブ
 8月22日(木) 北神戸ゴルフ場
 8月23日(金) 北神戸ゴルフ場
 8月26日(月) グランドオークブレイヤーズコース
 8月27日(火) 岡山空港ゴルフコース
 8月28日(水) 京都大原パブリックコース
 8月28日(水) 新大阪ゴルフクラブ
 8月28日(水) よみうりゴルフウェストコース
 8月28日(水) 高松パブリックゴルフコース
 8月30日(金) 青野運動公苑アオノゴルフコース
 8月30日(金) 西日本カントリークラブ
 9月3日(火) 八女上陽ゴルフ倶楽部
 9月26日(木)~27日(金) 京都大原パブリックコース(京都府)

2019年度 全日本ミッドシニアアマチュアゴルファーズ選手権

10月9日(水)~10日(木)
那須野ヶ原カントリークラブ(栃木県)

申込期間 7月1日~31日

■東日本地区(予選)

- 8月16日(金) JGM 宇都宮ゴルフクラブ
 8月17日(土) 下館ゴルフ倶楽部
 8月19日(月) 那須野ヶ原カントリークラブ
 8月20日(火) ムーンレイクゴルフクラブ市原コース
 8月22日(木) サンクチュアリ霞南ゴルフ倶楽部
 8月23日(金) 紫あやめ36
 8月23日(金) 鹿島南蓼科ゴルフコース
 8月25日(日) 富士国際ゴルフ倶楽部
 8月26日(月) 富士見高原ゴルフコース
 8月27日(火) 富士グリーンヒルゴルフコース
 8月28日(水) ウィンザーパーク ゴルフ アンド カントリークラブ
 8月28日(水) 昭和の森ゴルフコース
 8月29日(木) ハーモニーヒルズゴルフクラブ
 8月30日(金) よみうりゴルフ倶楽部
 9月3日(火) 千葉よみうりカントリークラブ
 9月3日(火) 八千代ゴルフクラブ
 9月4日(水) 富士箱根カントリークラブ
 9月4日(水) 八戸カントリークラブ
 9月5日(木) フォレスト旭川カントリークラブ

地区決勝

- 9月5日(木) 朝霞パブリックゴルフ場
 9月5日(木) 山中湖畔 富士ゴルフコース
 9月10日(火) 初穂カントリークラブ
 9月25日(水)~26日(木) 紫あやめ36(千葉県)
 4月28日(水) 名古屋広幡ゴルフコース
 4月29日(木) 正眼寺カントリークラブ
 4月29日(木) 定光寺カントリークラブ
 4月29日(木) アリジカントリークラブ 花垣コース
 4月29日(木) 小杉カントリークラブ
 4月30日(金) ウッドフレンズ森林公園ゴルフ場
 9月4日(水) ウッドフレンズ名古屋港ゴルフ倶楽部
 9月5日(木) 亀山ゴルフクラブ
 9月24日(火)~25日(水) ウッドフレンズ名古屋港ゴルフ倶楽部(愛知県)

西日本地区(予選)

- 8月19日(月) 太子カントリー倶楽部
 8月19日(月) コート・ペール徳島ゴルフクラブ
 8月22日(木) 北神戸ゴルフ場
 8月23日(金) 北神戸ゴルフ場
 8月26日(月) グランドオークブレイヤーズコース
 8月27日(火) 岡山空港ゴルフコース
 8月28日(水) 京都大原パブリックコース
 8月28日(水) 新大阪ゴルフクラブ
 8月28日(水) よみうりゴルフウェストコース
 8月28日(水) 湯村カントリークラブ
 8月28日(水) 高松パブリックゴルフコース
 8月29日(木) ベアズバウ ジャパン カントリークラブ
 8月29日(木) 米子ゴルフ場
 8月30日(金) 青野運動公苑アオノゴルフコース
 8月30日(金) 水島ゴルフリンクス
 8月30日(金) 奥津ゴルフ倶楽部
 8月30日(金) 西日本カントリークラブ
 9月2日(月) 西神戸ゴルフ場
 9月3日(火) 八女上陽ゴルフ倶楽部
 9月6日(金) 姫路シーサイドゴルフコース
 9月26日(木)~27日(金) 京都大原パブリックコース(京都府)

2019年度 全日本グランドシニアアマチュアゴルファーズ選手権

5月29日(水)~30日(木)
千葉よみうりカントリークラブ(千葉県)

申込期間 2月1日~28日

■東日本地区(予選)

- 3月19日(火) ムーンレイクゴルフクラブ市原コース
 3月19日(火) 米原ゴルフ倶楽部
 3月20日(水) 下館ゴルフ倶楽部
 3月21日(木) 古河ゴルフリンクス
 3月22日(金) 八千代ゴルフクラブ
 3月26日(火) フレンチシップカントリークラブ
 3月26日(火) 昭和の森ゴルフコース
 3月28日(木) ハーモニーヒルズゴルフクラブ
 3月28日(木) 朝霞パブリックゴルフ場
 3月29日(金) 紫あやめ36
 3月30日(土) ウィンザーパーク ゴルフ アンド カントリークラブ
 4月1日(月) JGM 宇都宮ゴルフクラブ
 4月1日(月) よみうりゴルフ倶楽部
 4月4日(木) 千葉よみうりカントリークラブ
 4月5日(金) サンクチュアリ霞南ゴルフ倶楽部
 4月11日(木) 山中湖畔 富士ゴルフコース
 4月12日(金) 市原ゴルフクラブ

地区決勝

- 4月28日(火)~29日(祝) JGM 宇都宮ゴルフクラブ(栃木県)
 3月26日(火) ウッドフレンズ森林公園ゴルフ場
 3月27日(水) 名古屋広幡ゴルフコース
 3月28日(木) 正眼寺カントリークラブ
 3月28日(木) アリジカントリークラブ 花垣コース
 3月29日(金) ウッドフレンズ名古屋港ゴルフ倶楽部
 3月29日(金) 亀山ゴルフクラブ
 4月4日(木) 定光寺カントリークラブ
 4月4日(木) 小杉カントリークラブ
 4月5日(金) 小松パブリック
 4月5日(金) ハーモニーヒルズゴルフクラブ
 4月24日(水)~25日(木) 小杉カントリークラブ(富山県)
 3月15日(金) よみうりゴルフウェストコース
 3月18日(月) 太子カントリー倶楽部
 3月19日(火) ダンロップゴルフコース
 3月19日(火) 武庫ノ台ゴルフコース

中部日本地区(予選)

- 3月20日(水) 高松パブリックゴルフコース
 3月22日(金) 北神戸ゴルフ場
 3月22日(金) 水島ゴルフリンクス
 3月25日(月) グランドオークブレイヤーズコース
 3月27日(水) 京阪ゴルフ倶楽部
 3月28日(木) ベアズバウ ジャパン カントリークラブ
 3月29日(金) 大阪パブリックゴルフ場
 3月29日(金) 青野運動公苑アオノゴルフコース
 3月29日(金) 奈良柳生カントリークラブ
 3月31日(日) 花回廊ゴルフコース
 4月2日(火) 西神戸ゴルフ場
 4月2日(火) 米子ゴルフ場
 4月4日(木) 八女上陽ゴルフ倶楽部
 4月5日(金) 岡山空港ゴルフコース
 4月8日(月) 奥津ゴルフ倶楽部
 4月8日(月) コート・ペール徳島ゴルフクラブ
 4月10日(水) 京都大原パブリックコース
 4月10日(水) 今治カントリー倶楽部
 4月25日(木)~26日(金) 武庫ノ台ゴルフコース(兵庫県)

2018年度 ダブルススクランブル選手権結果

ダブルススクランブル選手権 【全日本／スクラッチの部】

開催日：11月26日(月)
開催コース：ウッドフレンズ名古屋GC
参加人数：78ペア 156名

順位	チーム名	氏名	OUT	IN	TOTAL
1	悪太郎	塙田 一太・毛利 文太	31	31	62
2	ハツ橋とちんすこう	朝日 優磨・仲村春之介	31	31	62
3	神奈川大学体育会ゴルフ部	小川 龍清・斎藤 瑞己	32	31	63
4	TEAM KU	竹内 秀・瀧田 和司	31	32	63
5	べち夫と百太郎	川村 伸介・鎌倉 勝士	32	31	63

【全日本／ダブルペリアの部】

開催日：11月27日(火)
開催コース：ウッドフレンズ名古屋GC
参加人数：36ペア 72名

順位	チーム名	氏名	GR	HD	NET
1	Finger Moon	築山 尚史・指田 学	79	10.8	68.2
2	ブルーウォーター	青木 武人・水上 敏美	68	+1.2	69.2
3	酔っ払い	山本 実・石村 孝洋	72	2.4	69.6
4	Y&Y	山崎 亮・木下 ユカ	77	7.2	69.8
5	旭国際	島岡 良二・中尾 正人	69	+1.2	70.2

【関東A地区／スクラッチの部】

開催日：7月23日(月)
開催コース：イーストウッドCC
参加人数：57ペア 114名

順位	チーム名	氏名	OUT	IN	TOTAL
1	お～しゃんず	鈴木 功・鈴木 百香	33	30	63
2	ほりちゃんとちむ	池嶋 則夫・堀之内佳武	30	34	64
3	ワイワイスター	中西 義男・吉沢 勇次	31	34	65
4	team T.J	田中 淳・歌川 康広	33	32	65
5	カズ＆ヒロ	加藤 寛史・寺内 一夫	34	32	66

【関東A地区／ダブルペリアの部】

開催日：7月23日(月)
開催コース：イーストウッドCC
参加人数：7ペア 14名

順位	チーム名	氏名	GR	HD	NET
1	finger moon	築山 尚史・指田 学	76	3.6	72.4
2	ルパン＆不二子	牛窓 利哉・藤原三枝子	74	1.2	72.8
3	ORANGE CHOCO	高橋 敦子・加藤 隆	70	+3.6	73.6

【関東B地区／スクラッチの部】

開催日：9月10日(月)
開催コース：サンクチュアリ霞南GC
参加人数：53ペア 106名

順位	チーム名	氏名	OUT	IN	TOTAL
1	Team titties	田所 靖浩・テラー・リンデン	31	32	63
2	team crazy	藤平 康法・田中 泰臣	32	32	64
3	なる会	成毛 章弘・勝 美枝子	33	32	65
4	金乗軒	小泉 匡稔・軍司 一成	33	33	66
5	RIKINDER FOWLER	高橋 久雄・阿相ひとみ	35	32	67

【関東B地区／ダブルペリアの部】

開催日：9月10日(月)
開催コース：サンクチュアリ霞南GC
参加人数：6ペア 12名

順位	チーム名	氏名	GR	HD	NET
1	ボギ猿	岡田桂一郎・井上 明	75	6.0	69.0
2	池袋☆STARS	木下 勇・木下 恵子	82	12.0	70.0
3	W-KAORU	早乙女かおる・渡邊 薫	81	9.6	71.4

【関東C地区／スクラッチの部】

開催日：10月19日(金)
開催コース：八千代GC
参加人数：67ペア 134名

順位	チーム名	氏名	OUT	IN	TOTAL
1	鳩山特攻隊	梁瀬 正晴・高野 秀治	30	32	62
2	金正恩	小川 龍清・齋藤 瑞己	30	32	62
3	GO & MU	富永 進・郷 成龍	33	30	63
4	悪太郎	塙田 一太・毛利 文太	31	32	63
5	Wケンジ	小栗 健嗣・高橋 健司	33	31	64

【関東C地区／ダブルペリアの部】

開催日：10月19日(金)
開催コース：八千代GC
参加人数：8ペア 16名

順位	チーム名	氏名	GR	HD	NET
1	ノーシャンク	早乙女かおる・五十嵐 茂	78	8.4	69.6
2	酔拳	新井 則明・北澤 道夫	68	+2.4	70.4
3	ダブル6	和田 均・雀岡 優裕	74	3.6	70.4

【中部日本地区／スクラッチの部】

開催日：9月7日(金)
開催コース：正眼寺GC
参加人数：59ペア 118名

順位	チーム名	氏名	OUT	IN	TOTAL
1	S.H	細川 淳治・柴田 雅好	32	31	63
2	グレーボーンC	大沢 誠司・安田 勇二	32	31	63
3	アッ・パ・レ	竹内 祐彦・増田 大樹	31	32	63
4	ダンスダンス	林 里史・水谷 寛	33	31	64
5	TEAM66	奥井 貴夫・森重イヴァン	35	29	64

【中部日本地区／ダブルペリアの部】

開催日：9月7日(金)
開催コース：正眼寺GC
参加人数：16ペア 32名

順位	チーム名	氏名	GR	HD	NET
1	ダ・フランズ	山村 則子・内田 宏枝	72	3.6	68.4
2	Big Ball	玉川 貴文・大藤 直人	61	+8.4	69.4
3	サロンドオリーブ	堀部 有紀・堀部 玄	73	3.6	69.4

【西日本地区／スクラッチの部】

開催日：10月16日(火)
開催コース：グランドオークブレイヤーズC
参加人数：64ペア 128名

順位	チーム名	氏名	OUT	IN	TOTAL
1	AK54	寺川 健吾・秋山 四郎	33	32	65
2	ハツ橋とちんすこう	朝日 優磨・仲村春之介	32	33	65
3	Team geek	岡田 正巳・山本 進	33	32	65
4	風来坊	山本 學・久保 賢祐	35	31	66
5	S.Y.T	村田 靖司・谷口 友浩	34	32	66

【西日本地区／ダブルペリアの部】

開催日：10月16日(火)
開催コース：グランドオークブレイヤーズC
参加人数：16ペア 32名

順位	チーム名	氏名	GR	HD	NET
1	酔っ払い	山本 実・石村 孝洋	69	0.0	69.0
2	ないすべあ	新居 淑恵・臺多 雅美	72	2.4	69.6
3	美女と野獣	大田 卓一・辻 明美	68	+2.4	70.4

注

- ・スクラッチの部：タイスコアの場合は上位5位まではマッチング方式、6位以下は18番からのカウントバックにて順位を決定。
- ・ダブルペリアの部：同ネットスコアの場合は①ハンディキャップ少数上位、②18番ホールからのカウントバックにて順位を決定。



SNAP SHOT



ご参加いただきました皆様、お疲れ様でした。あの日の経験は、きっと未来へ羽ばたく足がかりとなるでしょう。



TOUR/B

B

イメージ

この飛び、筋金入り。

カーボンに組み込まれた金属弦で
初速を変えろ、飛距離を変えろ。
もはや「撃つ」という新体験。



Be your Best.

BRIDGESTONE
GOLF



ZERO SRIXON

ドライバーを、ゼロから作り直せ。

強さと、やさしさが、飛距離の限界をぶっ飛ばす。

NEW SRIXON Z DRIVER



生まれ変わってどう進化した?
全貌を徹底解説!

●株式会社ダンロップスポーツマーケティング 〒108-0075 東京都港区港南1-6-41
●詳しくは<http://golf.dunlop.co.jp/>へ。 ●商品のお問い合わせ 0120-65-3045